

平成 22 年度 香川県内遺跡発掘調査

讃岐国府跡発掘調査概報

2011. 9

香川県教育委員会

例　　言

1. 本書は、香川県教育委員会が平成 22 年度国庫補助事業として実施した香川県内遺跡発掘調査のうち、讃岐国府跡発掘調査についての概要報告書である。
2. 発掘調査は、香川県教育委員会が調査主体となり、香川県埋蔵文化財センターが調査担当者として実施した。
3. 発掘調査は、下記の期間で実施している。

期間：平成 22 年 11 月 9 日～平成 23 年 2 月 22 日

担当：香川県埋蔵文化財センター文化財専門員・宮崎哲治

4. 調査に当って、下記の機関等の協力を得た。記して謝意を表したい（順不同、敬称略）。
坂出市府中町地元自治会、同地元水利組合、坂出市教育委員会、清水重敦（奈良文化財研究所文化遺産部景観研究室長）、松本清孝（地権者）
5. 本書の作成は、香川県埋蔵文化財センターが実施し、執筆・編集は宮崎が行った。
6. 本書で用いる方位の北は国土座標第Ⅳ系の北であり、標高は東京湾平均海水位（T.P.）を基準としている。また、遺構は下記の略号により表示している。

S D 溝状遺構

7. 遺構断面図の水平線上の数値は、水平線の標高値（単位：m）を示している。
8. 土層断面図の層名および遺物観察表中の色調は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財團法人日本色彩研究所色票監修「新版 標準土色帖 1994 年版」による。

* 地図は国土地理院地形図を使用しました。

目 次

第1章 調査の経過

| | |
|--------------|----|
| 第1節 調査・整理の経過 | 1 |
| 第2節 既往の調査 | 4 |
| 第2章 調査の成果 | |
| 第1節 地形と土層序 | 4 |
| 第2節 遺構・遺物 | 9 |
| 第3章 まとめ | 19 |

挿図目次

| | |
|-------------------|----|
| 第1図 讲岐国府跡調査地位置図 | 2 |
| 第2図 遺構配置図① | 5 |
| 第3図 遺構配置図② | 6 |
| 第4図 調査区東西土層断面図 | 7 |
| 第5図 調査区南北土層断面図 | 8 |
| 第6図 SD01出土遺物実測図 | 10 |
| 第7図 SD02出土遺物実測図 | 11 |
| 第8図 SD03出土遺物実測図 | 11 |
| 第9図 SD04出土遺物実測図 | 12 |
| 第10図 SD05出土遺物実測図 | 12 |
| 第11図 石列状遺構平・断面図 | 14 |
| 第12図 SD07出土遺物実測図① | 16 |
| 第13図 SD07出土遺物実測図② | 17 |
| 第14図 SD07出土遺物実測図③ | 18 |
| 第15図 SD08出土遺物実測図 | 18 |
| 第16図 包含層出土遺物実測図① | 20 |
| 第17図 包含層出土遺物実測図② | 21 |

表目次

| | |
|-----------------|----|
| 第1表 讲岐国府跡調査地一覧表 | 3 |
| 第2表 遺物観察表(土器) 1 | 23 |
| 第3表 遺物観察表(土器) 2 | 24 |
| 第4表 遺物観察表(土器) 3 | 25 |
| 第5表 遺物観察表(土器) 4 | 26 |
| 第6表 遺物観察表(土器) 5 | 27 |
| 第7表 遺物観察表(土器) 6 | 28 |
| 第8表 遺物観察表(土器) 7 | 29 |
| 第9表 遺物観察表(瓦) | 30 |
| 第10表 遺物観察表(石器) | 30 |

写真図版目次

| | |
|-----------------------|--|
| 国版1 | 図版5 |
| 調査地遠景(南東から) | 石列状遺構の石列と南隣敷き部分(南から) |
| 調査区完掘状況(北から) | 石列状遺構(南東から) |
| 国版2 | SD07西肩部(北西から) |
| 基本上層序(西から) | SD08上層断面(北から) |
| SD01上層断面(北東から) | 国版6 |
| SD01遺物出土状況(南西から) | 出土遺物1 14 17 21 23 24 45 43-1 43-2 |
| SD05検出状況(南から) | 国版7 |
| 石列状遺構完掘状況(南から) | 出土遺物2 73-1 73-2 74-1 74-2 79 113 114 139 |
| 国版3 | 國版8 |
| 石列状遺構完掘状況(北から) | 出土遺物3 151 184 164-1 164-2 201-1 201-2 211-1 211-2 |
| 石列状遺構の石列と南隣敷き部分(南西から) | |
| 国版4 | |
| 石列状遺構の北隣敷き部分(北から) | |
| 石列状遺構の石列と南隣敷き部分(南から) | |

第1章 調査の経過

第1節 調査・整理の経過

「讃岐国府跡探索事業」として讃岐国府の調査を実施するのは、讃岐国府が古代讃岐の政治の中心施設であり、その後の讃岐の県土形成に大きな役割を果たした行政府の実情を明らかにし、保存・活用を図ることを目的としているからである。4カ年の継続事業として平成21年度に開始した「讃岐国府跡探索事業」の、本年度は2年目にある。

発掘調査地点の選定については、昨年度に地形・地名調査の成果などを基に埋蔵文化財センター内で検討を繰り返して、周知の埋蔵文化財包蔵地「讃岐国府跡」の北西部に国府の中心地である国庁が存在する可能性が高いのではないかと推定した。それは、城山から綾川に向かって伸びる尾根の末端付近にあたり安定した土地であるという地形的な条件の良さと、国府の政府を想定させる地名「セイドウ」をはじめ、「インヤク（インニヤク）」「クラマエ」などが集中して聞き取れたという地名調査の成果に基づくものである。昨年度は、推定した微高地上で国庁を含めた施設の建物跡の検出に努めたが、12～13世紀代の小規模な掘立柱建物跡3棟の確認にとどまった。調査担当者は、昨年度調査地の東側に国庁の可能性を想定している。今年度はこれを受けて、微高地の東端付近で、東西方向に約60cmの比高差を有する上段部を発掘調査地点とした。調査体制上、発掘調査はトレーニング調査という線・点的な形態をとらざるを得ないことから、国庁の周囲を開んだ板塀や築地塀などの施設の検出を目的として調査に当った。

調査地は民地（水田）であることから、地権者への説明、補償の手続きを行い、地権者の承諾を得て10月末で準備を整えた。

発掘調査は、平成22年11月9日～平成23年2月22日の期間で実施した。当初予定したL字形の調査区部分については一部遺構検出面まで重機で掘り下げたが、包含層や拡張した調査区についてはすべて人力によって掘り下げている。包含層や遺構の掘り下げは主にボランティア調査員が担当した。ある程度まとまった人員で作業を行うために、基本的に作業日を週3日としたが、調査終盤は稼動日を増やして作業を進めた。延べ調査日は41日、ボランティア調査員の述べ参加人数は184人にはる。最終的な調査面積は38m²となった。

現地は伏流水による湧水が激しく、仮設電力を設置できないため電力ポンプによる常時排水ができず、発動発電機とポンプによる作業前の排水は日課となつた。このことは、土の掘り下げ、測量作業、写真撮影前の清掃など全てにおいて作業効率を下げる要因となったことを特記しておきたい。

調査期間中には、坂出市立坂出中学校2年生、同白峰中学校2年生生徒の職場体験、「ちょっと寄り道こんびら街道 二〇一〇 もみじ編」や香川県文化財保護協会の研修会での現場見学なども合わせて実施した。新聞・テレビなどの報道機関も昨年度に引き続いて取材を実施し、情報

発信の一翼を担っていただいた。1月23日には午前中に府中町住民を対象にした地元説明会、午後からは一般を対象とした現地説明会を開催し、合わせて200人もの参加を得た。

また、1月12日には、奈良文化財研究所文化遺産部景観研究室長の清水重敦氏を現地へ招聘して、石列状遺構を実見していただき、貴重な御指導・御意見を拝した。

平成23年2月22日に現地の埋め戻し・現状復旧を終え、地権者の確認を得て、発掘調査は終了した。



第1図 講岐国府跡調査地位置図

第1表 警岐国府跡調査地一覧表

整理作業は、発掘調査期間中の平成23年1月4日に開始し、同年3月31日に終了した。遺物洗浄、遺物注記、遺物復元、実測遺物抽出、遺物実測、遺構・遺物図面トレイス、レイアウト、遺物写真撮影、遺物観察表作成、原稿執筆、編集、台帳整備、収納などの作業を行った。整理作業に従事した人員は4名で、遺物量は28リットル入りコンテナ12箱である。

第2節 既往の調査

周知の埋蔵文化財包蔵地としての「讃岐国府跡」は、坂出市府中町本村地区において綾川がほぼ直角に流れを変える付近を東・南限とした東西約600m、南北約700mの範囲とされている。この範囲内には、白鳳期の創建とされる古代寺院の開法寺跡（周知の埋蔵文化財包蔵地としては「開法寺塔跡」と「開法寺遺跡」）が含まれている。鼓岡神社の所在する丘陵の南側で坂出市教育委員会の調査が行われ、塔・講堂・僧坊・回廊などの遺構が確認され、大量の瓦などが出土している。

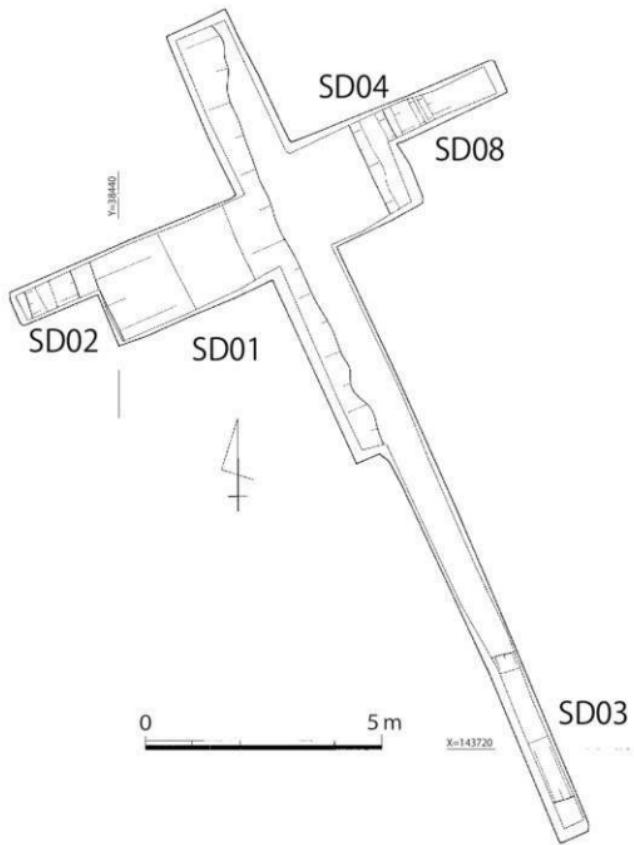
「讃岐国府跡」の調査は、昭和51年度の坂出市教育委員会の調査を初めとして、昭和50年代の香川県教育委員会による範囲確認調査や坂出市教育委員会による開発に伴う事前調査が実施されてきた。これらの調査地は「セイリュウ」の呼称を持つ市道を中心に、JR予讃線と鼓岡神社の間に集中する結果となっている。ほとんどの調査地において、平安時代後期から鎌倉時代の遺構・遺物が検出されるのに対し、国府が創建されたとされる奈良時代頃の遺構は第1・6・18次の3地点と少ない。遺物も、硯や墨書き土器、縁軸陶器、布目瓦など、寺院や官衙的な施設を示唆するようなものも見られるが、溝状遺構や包含層から散在的に確認されているに過ぎない。このように国府を含めた周辺官衙群の様相などについては明らかになっていないのが現状である。

第2章 調査の成果

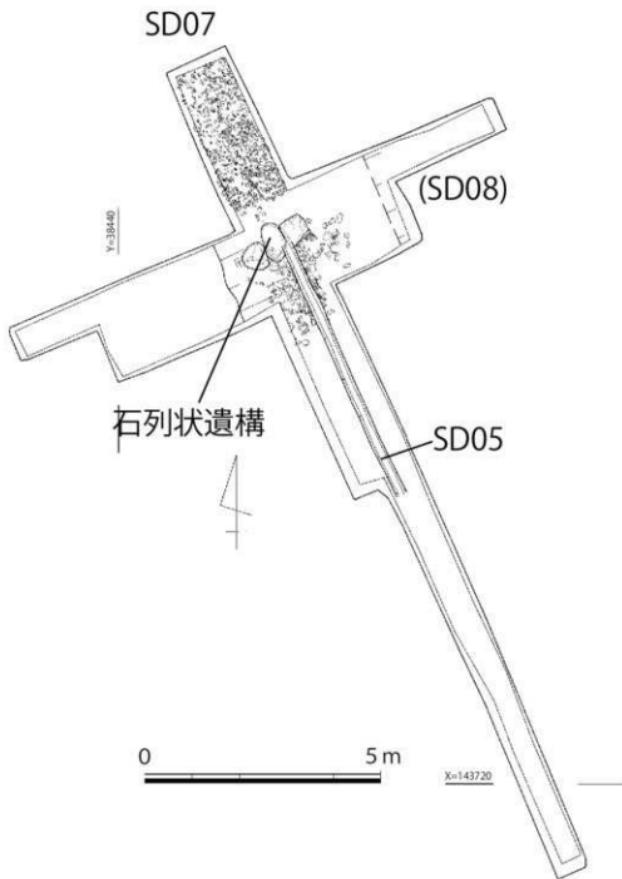
第1節 地形と土層序

今年度の調査地は、坂出市府中町5175番地で、現況は水田として土地利用されている。昨年度調査（第28次）地の東方約150mに位置し、南西約50mには第3次調査地点がある。城山山麓から綾川に向かって派生する尾根のひとつで、末端付近にあたるため、東に下る緩斜面地に位置している。周辺は階段状に開墾され、主に田畠として使われており、調査地の東隣は約60cmの比高差を持つ水田が南北に連なっている。調査地の現地表面は標高14.7mを測る。

調査地点の基本土層序は、上から順に橙色混細砂粘質土（I層）、明褐灰色混細砂粘質土（II層）、明褐灰色混細～中砂粘質土（III層）、褐灰色混中砂粘質土（IV層）が調査区全体にわたって、ほぼ水平堆積をしている。その下位には調査区の南・東端部付近では途切れるが、灰色粘土（V

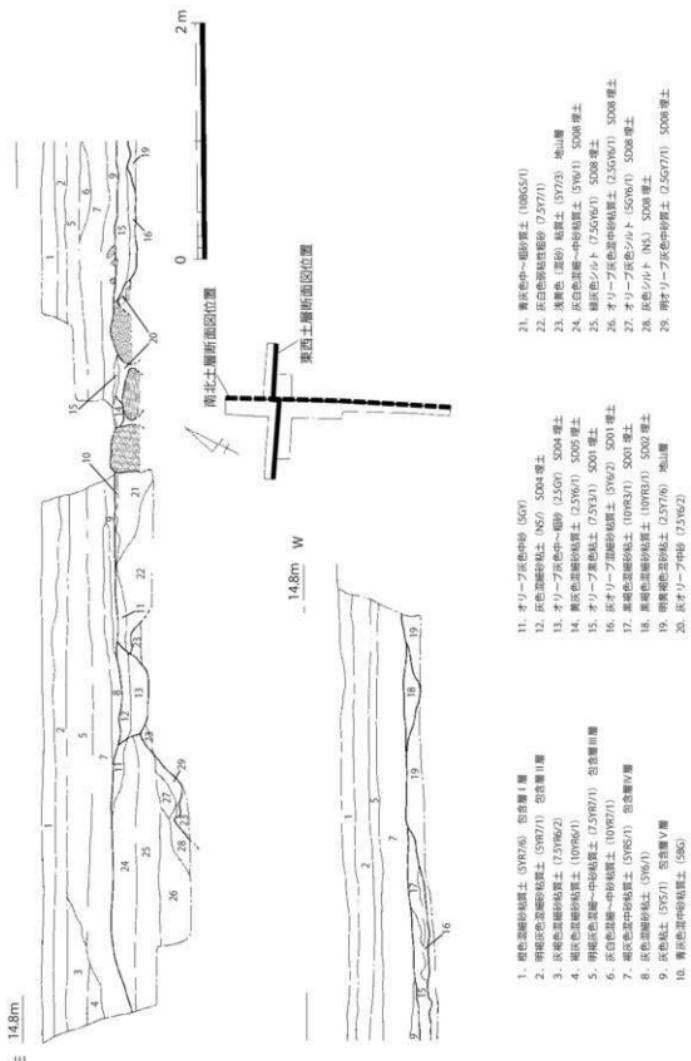


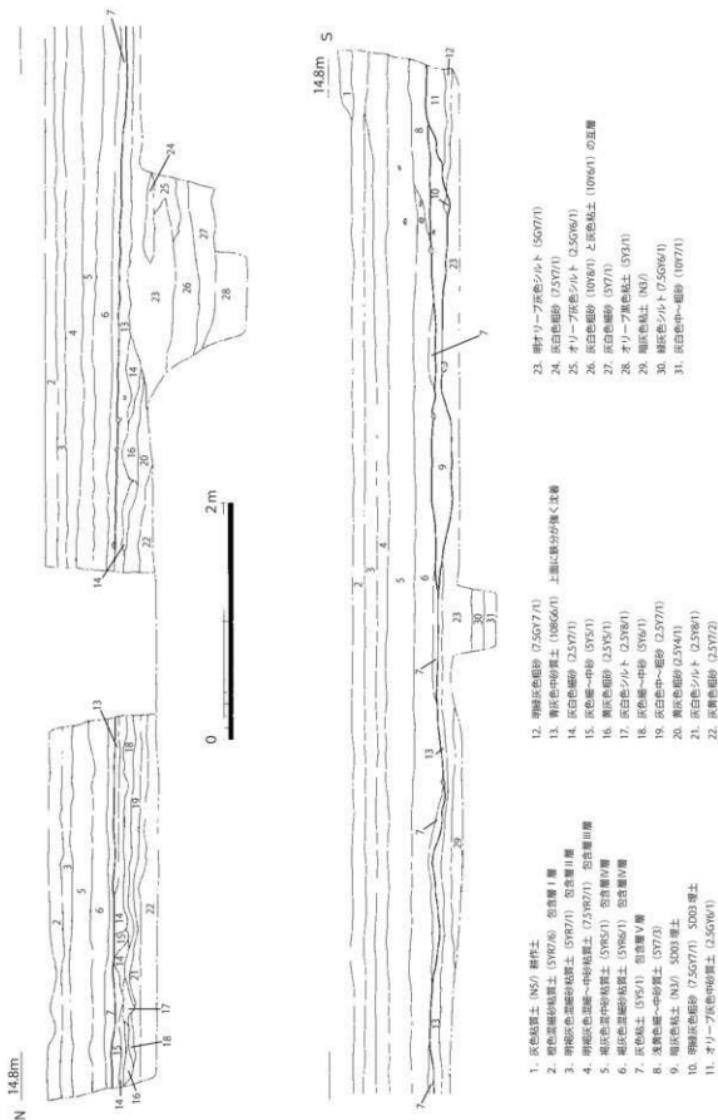
第2図 遺構配置図①



第3図 遺構配置図②

第4図 調査区東西土層断面図





第5図 調査区南北土層断面図

層)が堆積している。これらの遺物包含層のうちI～IV層は、マンガンや鉄分の連続した沈着がみられることや水平堆積の状況から、水田として土地利用されたことが想定される。ただし明確な畦畔等の遺構は認められなかった。

遺構は、V層の直下、現地表から約1.3m下位で検出している。遺構検出面では調査区の大半が複数の時期の異なる溝状遺構の埋土で占められていたが、調査区西寄りで検出した浅い溝状遺構(SD 01・02)の直下には地山層である明黄褐色混砂粘土を確認した。調査区東寄りでは、遺構検出面から約1.3m下位の溝状遺構の底面などで、地山層がグライ化したものと思われる青灰色混砂粘土や青黄色混砂粘土を確認しており、溝状遺構が構築される前は地山の粘土層が東に向かって緩やかに傾斜していた様子が想定される。

第2節 遺構・遺物

調査の結果、溝状遺構7条と石列状遺構1基の遺構を検出した。

調査区が狭小であるため、遺構の全体の形状や規模が判明したものは小規模な溝状遺構(SD02・04・05)など数えるほどしかない。とりわけ、規模の大きな溝状遺構については、片側の肩部を部分的に検出するにとどまり、石列状遺構に伴う礫敷きの保存のため、良好な個所での下部の掘り下げがかなわず、基礎データの採取に留まった部分が多い。

このため、溝状遺構と判断した遺構の中には、他の遺構が含まれる可能性もあるが、今回は溝状遺構として報告する。

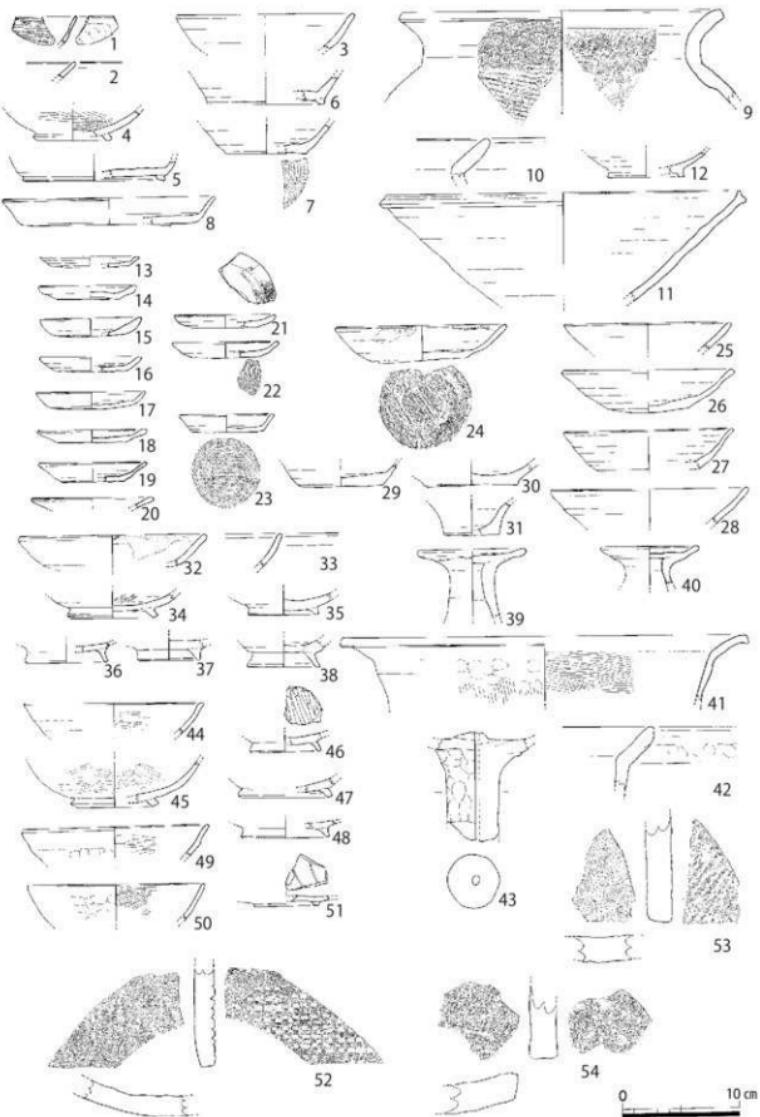
なお、本書で用いる遺構名・遺構番号は、調査時に呼称したものをそのまま使用した。そのため、整理作業の過程で遺構ではないと判断したSD 06は欠番のままで報告している。

SD 01

調査区の中央から西半にかけて検出したN 24°Wの方向を有する溝状遺構である。断面形態は浅い皿状を呈しており、底面は比較的平らに整形されている。遺構の重なり具合からSD 07・05の埋没後に設けられていることがうかがえる。幅4.0m、深さ0.2m、検出長は1.8mを測る。埋土は概ね上下2層に大別され、上層は粘性の強いオリーブ黒色粘土で、下層は黒褐色～灰オリーブ色混砂粘質土である。砂・シルト層はまったく認められないことから、流水があったとは想定しづらく、滯水状態のままで埋没していった状況が復元される。

このSD01の埋土は、後述する石列状遺構の西端の石を被覆しており、石列状遺構の年代決定の下限を示している。

遺物は須恵器・土師器・黒色土器・瓦器・瓦・サスカイト・獸骨などが出土した。土師器の中では小皿・杯類が比較的目に付く。土師器杯21は内面に煤が付着しており、灯明皿に用いられたことが分かる。土師器杯24・32も内面の一部に煤が付着している。24は底面に押圧痕が1



第6図 SD 01 出土遺物実測図

つ確認された。9～10世紀代に位置づけられる須恵器杯6・7や須恵器皿8、京都産と思われる綠釉陶器椀12、古代に属する平瓦52～54などの下層遺構から混入した遺物も認められるが、土師器や黒色土器の年代観から、12～13世紀にかけて埋没した溝状遺構と判断できる。

SD 02

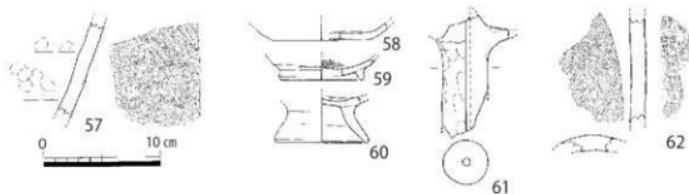
調査区の西端付近で検出したN 24° Wの方向を有する溝状遺構である。断面形態は浅い逆三角形を呈している。溝状遺構 SD 01とは約50cmの間隔で平行しているとみられる。幅1.1m、深さ0.15m、検出長は0.6mを測る。埋土は黒褐色混細砂粘質土で、SD 01の埋土と酷似する。

遺物は僅少だが、須恵器・土師器・白磁・瓦・獸骨が出土した。古代の平瓦56も含まれているが、白磁椀55の年代観から、13世紀代に埋没したものと判断でき、SD 01と同時期に機能した溝状遺構と考えられる。

SD 03

調査区の南端付近で検出したN 64° Eの方向を有すると思われる溝状遺構である。浅いW字状を呈している。幅4.0m、深さ0.1～0.2m、検出長は0.5mを測る。埋土は暗灰色粘土で底面の一部に明緑灰色粗砂が堆積している。SD 01の埋土とは類似している。

遺物は須恵器・土師器・瓦・土製品などが出土した。遺物量は少ないが、土師器椀59や土師器高台付き椀60の年代観から、12～13世紀代に埋没したものと思われる。規模や埋土が類似するSD 01と同時期であり、方向もほぼ直交することから、SD 01が直角に屈曲したものか、SD 01と直角に交差する溝状遺構の可能性がある。

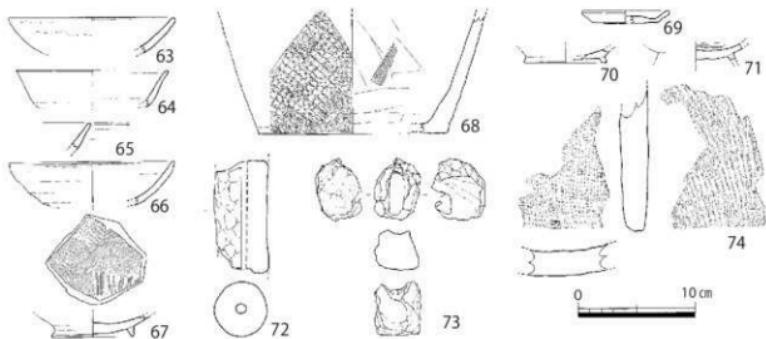


第7図 SD 02 出土遺物実測図

SD 04

調査区の東寄りで検出したN 24° W の方向を有する溝状遺構である。断面形態は逆台形状を呈しており、底面は平らに整形されている。先行する溝状遺構 SD 07 の東肩部及び SD 08 の西肩部を掘り込んでいるため、SD 07・08 の先後関係を不明なものとしている溝状遺構である。幅0.8 m、深さ0.3 m、検出長は2.1 mを測る。埋土は上下2層に分かれ、上層は灰色混細砂粘土で、下層はオリーブ灰色中～粗砂が堆積している。

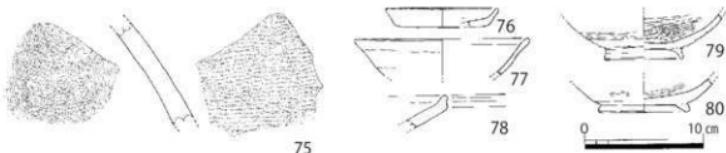
遺物は須恵器・土師器・黒色土器・瓦・土製品などが出土した。十瓶山窯跡産須恵器63・66や土師器小皿69などの年代観から、12～13世紀代に埋没した溝状遺構と判断できる。



第9図 SD 04 出土遺物実測図

SD 05

調査区の中央部で検出したN 24° W の方向を有する溝状遺構である。断面形態は浅い逆台形状を呈しており、底面は比較的平らに整形されている。先行する溝状遺構 SD 07 の最終埋没層である粗砂層を掘り込んで作っており、北端は石列状遺構の中央の石で終わっている。石列状遺構より北は土層が不整形に乱れており、溝状遺構の体を成していない。幅0.3 m、深さ0.15 m、検出長は5.8 mを測る。埋土は黄灰色混細砂粘質土の単一土層である。



第10図 SD 05 出土遺物実測図

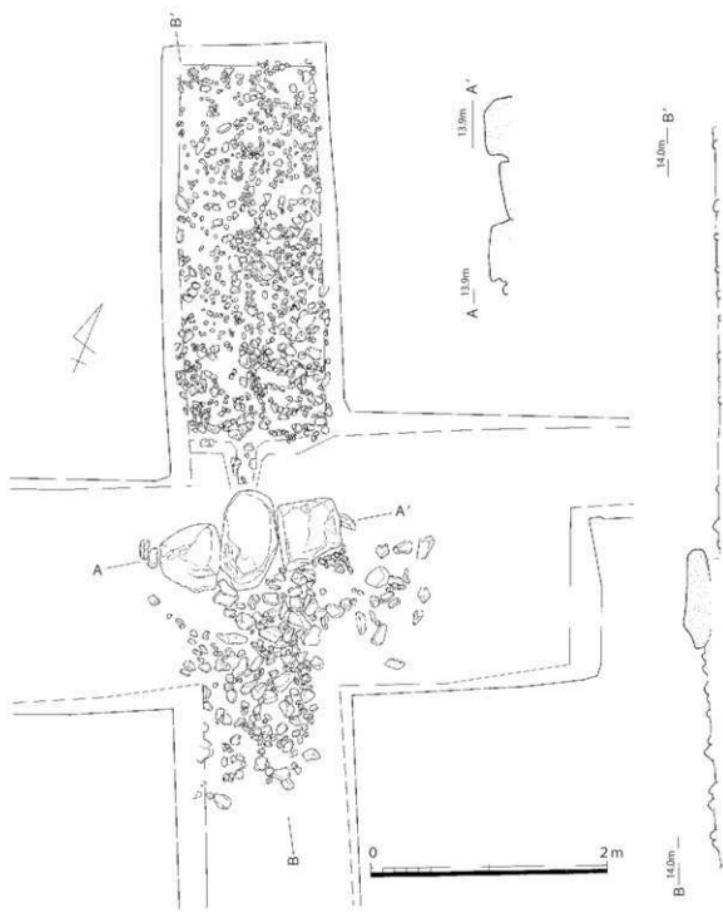
遺物は僅少であるが、須恵器・土師器・黒色土器・サスカイトなどが出土した。古代の須恵器壺75などの混じり込みもみられるが、土師器小皿76や黒色土器椀79・80の年代観から、12世紀代に埋没したものと判断できる。

石列状遺構

調査区の中央部分で確認した礫敷きと石列からなる遺構である。溝状遺構SD07の埋土上層の下位の粗砂層の堆積後（9世紀以降）、SD07がほとんど埋まつた段階に礫敷きを行い、その上に3つの塊石を東西方向を意識して並べている。礫敷きは石列の南約3m付近から調査区北端にかけて約7mを確認したが、さらに北方に続くことが想定される。拳大前後の亜角礫・亜円礫を平面を上方に向けるように敷いており、礫の間には部分的に灰白色シルト層が堆積していた。石列南方では、拳大から小兒頭大の亜角礫・亜円礫を敷いており、石列に接して直下に入り込んでいる状況を確認した。南端から石列に向かって緩やかに登る傾斜が見られることや、石の上面が不揃いであること、石の並べ方が縦方向や横方向など乱れていることから、当初は面的に敷いたものが、埋没時の粗砂の勢いで北に動かされ、石列によってせき止められた状態で埋没したものと思われる。また、石敷き南端付近では調査時には自然堆積と判断した拳大の礫の面的な堆積があり、遺構保護のため断割り調査はできていないが、石列北方の礫敷きと連続する可能性があり、南方の礫敷きは二重構造をしていた可能性が想定される。石列は50～60cm大の直方体状の安山岩の塊石を接するように並べたもので、N55°Eの方向を有する。SD07や周辺に残る地割りの方向とは合致せず、約78°東へ振る形となる。中央に縦長の石を流路方向に合わせて置いたあと、両側に対面する面を揃えるように上面の高さをそろえた石を置いている。石列の周囲は粗砂層（上位の粗砂層）が堆積しており、石を設置するための掘り込み（掘り方）は認められないことや南方の礫敷きが直下に接していることから、礫敷きと石列は一連のものと判断した。

礫敷き中からは、須恵器椀83、須恵器蓋89、綠釉陶器椀114・115、白磁椀116、土師器杯136、黒色土器椀155・157、瓦164・169などの9～10世紀代の遺物が出土しており、石列状遺構の構築年代は10世紀代に求めることができる。

この遺構の性格については、県内では調査例がないため、奈良文化財研究所文化遺産部景観研究室長の清水重敦氏を招聘して、遺構を実見していただいた。清水氏からは①建物の礎石とするには地盤である粗砂層が脆弱で適さない、②中央の石を1段下げて両側の面を向かい合わせて揃えていることから板屏状の遮蔽施設の下部に水を通すための施設の基礎、③溝状遺構を東西方向で通行するための飛び石、あるいは木橋状の施設の基礎、との御意見・御指摘を得た。清水氏に見聞いただいた段階では石列のみを確認した状態であり、その後、完掘状態の遺構の写真を見ていただいたが、類例に心当たりはないとのことであった。調査の結果、石列の両側に埠などの遮蔽施設の痕跡は認められなかったため、通水施設ではないと思われる。調査範囲の狭い現状では、



第 11 図 石列状遺構平・断面図

地固め（地行）を伴う橋の基礎や飛び石、建物礎石、水を使用した苑池状施設などの可能性を指摘するにとどめ、今後の類例の増加に期待したい。

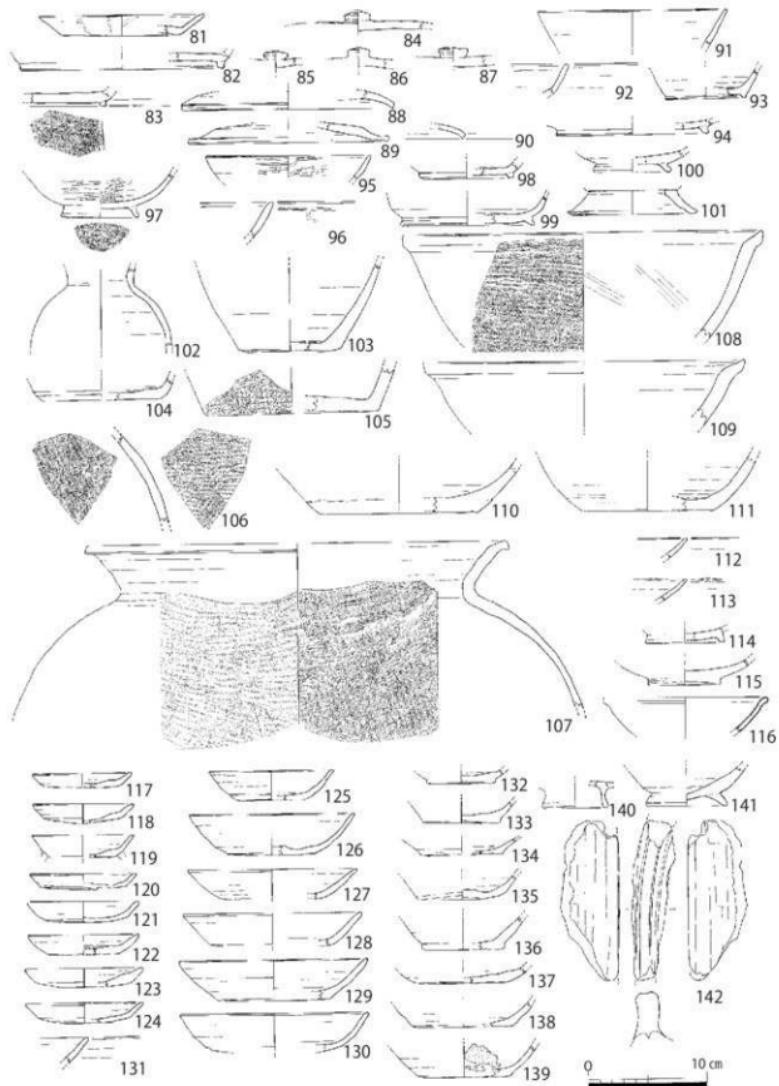
SD 07

調査区の中央を南北に貫くように検出したN 21°Wの方向を有する溝状遺構である。断面形態については、断ち割り調査を実施しようとした部分に石列状遺構が出土したため、遺構保護のためにかなわず、確認できていない。また、調査区の湧水が著しく、かつ分厚く堆積した粗砂層の崩落の危険性が高いこともあり、溝状遺構の底面については調査区中央で一部を掘り下げて確認するにとどめた。このため、肩部から底面まで連続した壁面の土層断面図を作成することができず、約3mの距離を隔てた2つの図面から規模・土層を判断している。幅約4.0m、深さ1.3m、検出長は19.0mを測る。埋土は、概ね3層に大別され、両肩付近に下層の褐灰色～明オリーブ灰色シルト、このシルト層を掘り込むように中層に青黒色粘土、上層に灰白色～灰褐色粗砂が堆積している。上層の粗砂層は石列状遺構に伴う疊層（疊敷き）を境に上下に大別できるが、下位の粗砂層には間層のラミナ層が存在するなどの状況があり、さらに細分することが可能と思われる。東に隣接する溝状遺構SD 08との先後関係については、両方の溝状遺構が重なるであろう東肩部分に後世の溝状遺構SD 04が掘られており、それによって崩されているため明らかにすることはできなかった。

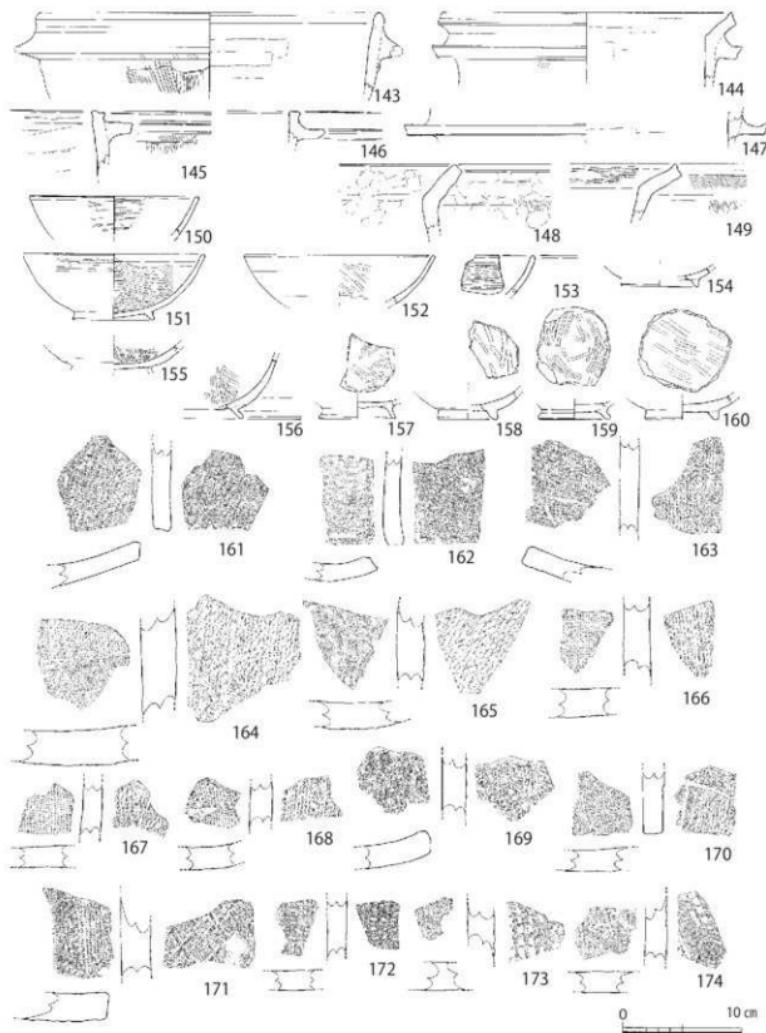
遺物は須恵器・土師器・黒色土器・縄釉陶器・白磁・瓦・サスカイト・スラグ片・自然木などが出土した。層位別にみていくと、下層のシルト層中から出土した遺物量は僅少だが、須恵器蓋86・90、須恵器椀96、須恵器壺107、土師器杯134などの8～9世紀代の遺物が含まれており、溝状遺構の埋没開始時期が8世紀代にさかのばる可能性を示唆している。中層の粘土層からの出土遺物には、須恵器蓋84・85、須恵器壺106など9世紀代のものが含まれているが、遺物量は僅少である。この層を形成する粘土は草本質であり、この層にだけ自然木（枝など）が含まれていた。最も遺物出土量が多いのは、上層の粗砂層である。疊敷き上位からの遺物量が大半を占めており、下位からの出土量は少ない傾向がある。上位の粗砂層からは、前代の遺物も若干量含まれているが、十瓶山窯跡産須恵器椀95、須恵器鉢109、土師器小皿117～124、土師器杯125～130、土師器椀141、土師器羽釜146・147、黒色土器椀151・156・160、瓦類の大半などの12世紀代のものがある。手持ち砥石179も上位の粗砂層に含まれていた。下位からのものには、須恵器皿81、須恵器杯91、須恵器椀98・99、須恵器壺104、縄釉陶器椀113、土師器杯135、瓦162・174など、9世紀代を中心とした8～9世紀代の遺物が出土している。

SD 08

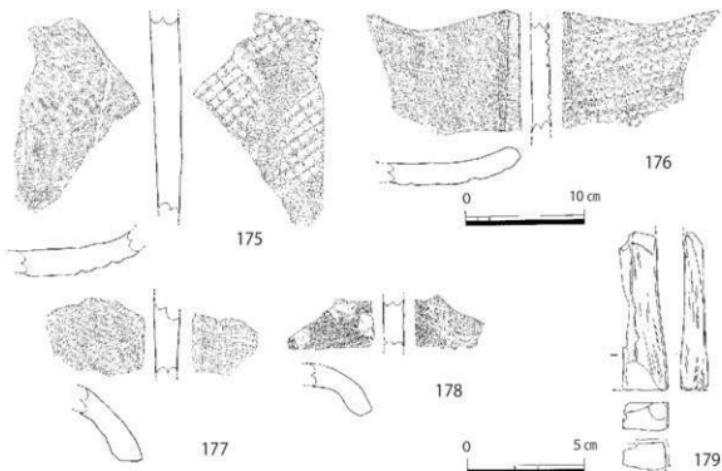
調査区の東端付近で検出したN 24°Wの方向を有する溝状遺構である。東肩部は調査区外へ続くものとみられる。激しい湧水と粗砂層の堆積という悪条件による壁面崩落に伴うコンクリート畦畔と用水路の崩壊を避けるため、底面までの掘り下げが実施できなかった。このため、断面形態や詳細な規模についての確認はできていない。現況で幅3m以上、深さ0.8m以上、検出長は



第12図 SD 07 出土遺物実測図①



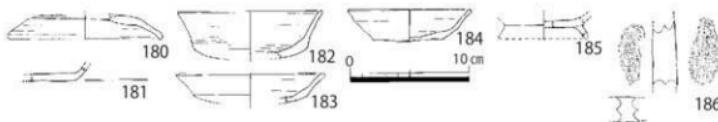
第13図 SD 07出土遺物実測図②



第14図 SD 07出土遺物実測図③

0.7mを測る。西に隣接する溝状遺構SD 07との先後関係については、西肩部を溝状遺構SD 04によって崩されているため、判明しなかった。

遺物は須恵器・土師器・黒色土器・瓦・サスカイトなどが出土した。遺物量は僅少で、現状での下層のオリーブ灰色混中砂粘質土から出土している。須恵器蓋180や須恵器杯181などの9世紀代の遺物や古代の平瓦なども認められるが、土師器杯182・184など12世紀代のものもみられることから、現状では9世紀代以前に開削され12世紀代に埋没途上にあったものと判断しておきたい。



第15図 SD 08出土遺物実測図

包含層出土の遺物

遺物包含層のうちI～IV層は、堆積状況などから水田として土地利用されたと想定できることを先述した。ここでは各々の層位からの特徴的な遺物を掲載している。

187はI・II層、188～191はIII層、192～208はIV層、209～221はV層、222～232はVI層下から出土したもの、233～242は壁面清掃中など層位不明のものである。

I・II層は染付磁器碗187の年代観から17世紀代と想定される。III層からは底面に穿孔1個を施した古代の土師器碗189や、13世紀代の土師器碗190などもみられるが、小破片ながら15世紀代とみられる土師器土釜が出土していることから、15世紀代の年代が想定される。IV層でも古代の平・丸瓦や12世紀代の十瓶山窯跡産須恵器碗207があるが、多いのは13世紀代の土師器小皿193や土師器杯196などである。層の厚みから13～15世紀の間に堆積したことが想定される。V層は層厚が薄い割りに遺物量が多い傾向がある。8世紀代の須恵器高杯211（「夫」状の刻書あり）や古代の平・丸瓦、12世紀代の十瓶山窯跡産須恵器碗210や十瓶山窯跡産須恵器壺213などがみられるが、多いのは土師器小皿214などの13世紀代の遺物であり、溝状造構SD01埋没に連続して堆積したものと思われる。V層下から出土したものについては、溝状造構SD07の最上層の埋土（石列状造構の礫敷きを覆い尽くした灰白色系粗砂）と溝状造構SD01の掘り残しの土から出土した遺物が混在している可能性があり、ここに一括した。8～10世紀代の須恵器碗222、須恵器皿224、須恵器蓋225などは前者に、12～13世紀代の土師器小皿227、土師器碗228、黒色土器碗230などは両者に属する可能性がある。層位不明の包含層出土のものでは、11世紀代の十瓶山窯跡産須恵器壺233、13世紀代の白磁鉢236、白磁碗237、龍泉窯産青磁碗238などが特徴的な遺物としてみられる。土師器碗234の内面には漆と思われる皮膜が付着している。

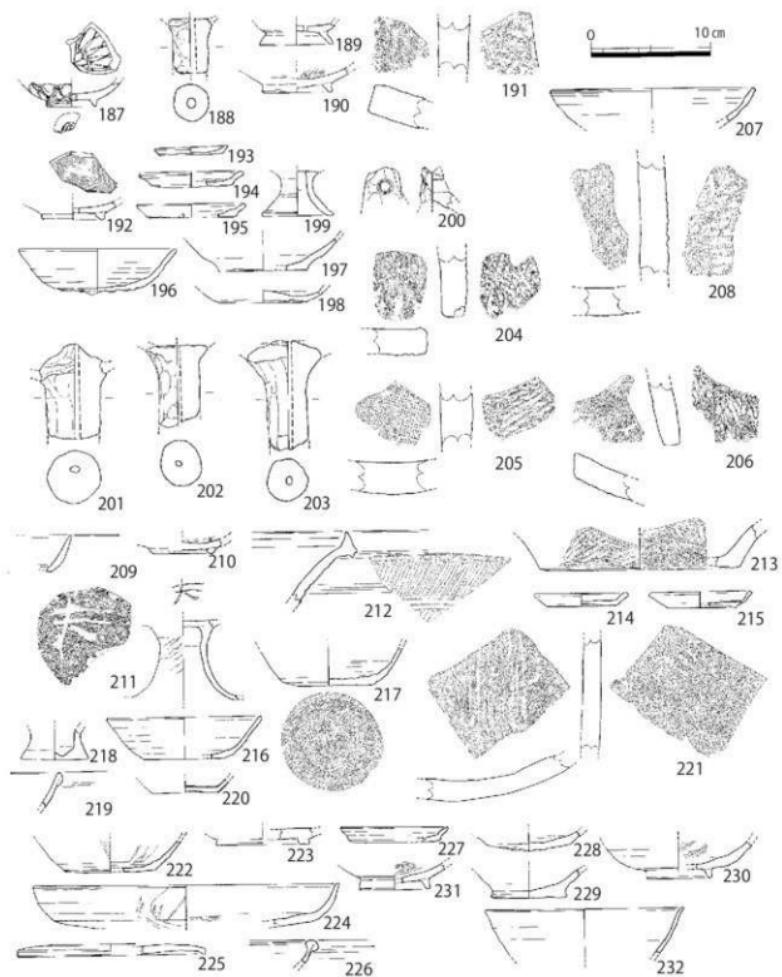
第3章　まとめ

今回、平成22年度の調査では、奈良時代から鎌倉時代にかけての造構と、旧石器時代から江戸時代にわたる遺物を検出した。

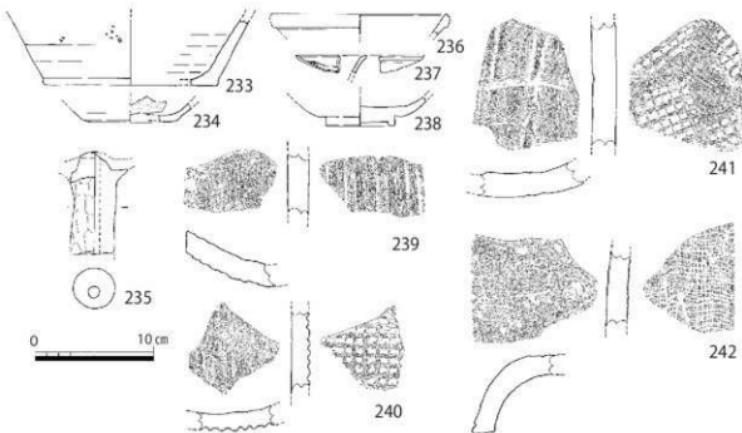
遺物の年代観から、造構の変遷は次のように考えられる。

- ① 奈良時代（8世紀）に溝状造構SD07が開削される。
- ② 平安時代前半（10世紀頃）、SD07がほぼ埋まった頃に石列状造構が設置され、SD08が開削される。
- ③ 平安時代末（12世紀頃）、石列状造構を含めたSD07は完全に埋没し、その後にSD05が掘られる。SD08の埋没が進む。
- ④ 鎌倉時代（13世紀頃）、SD01・02・03が掘られるが、13世紀代にはほぼ埋没する。
- ⑤ これ以降は、水田耕作地として土地利用がなされる。

造構は溝状造構7条と石列状造構1基であるが、溝状造構の中でもSD07・08は、幅約4m



第16図 包含層出土遺物実測図①



第17図 包含層出土遺物実測図②

で深さ1mを超える大規模なもので、長期間にわたって機能していたことが分かった。また、南方へ延伸すると、推定「南海道」跡とされる市道と直行し、さらに昭和51年度の讃岐国府跡の調査で検出した溝状遺構が存在している。これらのことから、SD 07・08は、当該地域を区画する基準線としての機能を持ち合わせていたことが想定される。石列状遺構の性格は特定できなかったが、この遺構が設置された地点は、推定「南海道」とSD 07・08の延長の交点から約108m北方の地点にあたり、条里制に伴う方格地割を意識して設置された可能性がある点は注意すべきであろう。

SD 07からは縄文陶器などとともに、古代の平・丸瓦が出土している。これらの遺物は磨耗がほとんど見受けられないことから、近辺の構築物で使用されたものと考えられる。SD 07が機能していた8~10世紀は、国府が機能していたと想定される時期であり、国府の各施設が礎石立ち瓦葺きの建物に建て替えられ周間にめぐらした板塀が築地塀に変化すると調査例から指摘される9世紀代を含んでいる。さらに、国府の外周に大規模な溝状遺構をめぐらす例が伊勢国府や伊賀国府でも確認されていることなどから、SD 01の底面である非常に平坦で緩やかな面の形成がSD 07の時代に遡るとすれば、SD 07の西側に隣接して築地塀が存在した可能性も十分に考えられよう。SD 07の延伸を確認する調査は必要と思われるが、その際には西側の平坦地の存在にも十分注意をはらって調査すべきであり、面的に広げて確認することが必要と思われる。

遺 物 觀 察 表

第2表 遺物觀察表（土器）

| 編 號 | 銘文 | 陶器名 | 種類 | 器種 | 色 | 調 | 量 | 計 | 外 部 | 内 部 | 調 燃 | | 保有率 | 備 考 | |
|--------|------|------|----|--------|-------------|-------------|-----|--------|--------|---------|--------|------------|------------|------------|----|
| | | | | | | | | | | | 寸 寸 | 口徑 (cm) | 器高 (cm) | 底径 (cm) | |
| 1 | S001 | 須恵器 | 輪 | NS-N8/ | 灰白 N4/ | 灰白 NS8/ | ■・少 | (12.8) | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 口縁部微片 | 瓦質 |
| 2 | S001 | 須恵器 | 輪 | NS-N8/ | 灰白 N4/ | 灰白 NS8/ | ■・少 | (15.0) | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 口縁部微片 | 瓦質 |
| 3 | S001 | 須恵器 | 輪 | NS-N8/ | 灰白 N4/ | 灰白 NS8/ | ■・少 | (6.0) | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 口縁部微片 | 瓦質 |
| 4 | S001 | 須恵器 | 輪 | NS-N8/ | 灰白 N4/ | 灰白 NS8/ | ■・少 | (11.8) | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 口縁部微片 | 瓦質 |
| 5 | S001 | 須恵器 | 輪 | NS-N8/ | 灰白 N4/ | 灰白 NS8/ | 中・少 | (9.8) | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 口縁部微片 | 瓦質 |
| 6 | S001 | 須恵器 | 輪 | NS-N7/ | 灰白 N4/ | 灰白 NS8/ | ■・少 | (6.8) | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 口縁部微片 | 瓦質 |
| 7 | S001 | 須恵器 | 輪 | NS-N7/ | 灰白 N4/ | 灰白 NS8/ | ■・少 | (15.0) | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 口縁部微片 | 瓦質 |
| 8 | S001 | 須恵器 | 三 | NS-N7/ | 灰白 N5/ | 灰白 NS5/ | ■・少 | (26.8) | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 口縁部微片 | 瓦質 |
| 9 | S001 | 須恵器 | 焼 | NS-N7/ | 灰白 N5/ | 灰白 NS5/ | ■・少 | (26.8) | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 口縁部微片 | 瓦質 |
| 10 | S001 | 須恵器 | 焼 | NS-N6/ | 灰白 N5/ | 灰白 NS5/ | 中・多 | (29.8) | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 口縁部微片 | 瓦質 |
| 11 | S001 | 須恵器 | 焼 | NS-N6/ | 灰白 N5/ | 灰白 NS5/ | 中・少 | (6.4) | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 口縁部微片 | 瓦質 |
| 12 | S001 | 須恵器 | 輪 | NS-N6/ | 灰白 N5/ | 灰白 NS5/ | 中・少 | (6.5) | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 口縁部微片 | 瓦質 |
| 13 | S001 | 土師器 | 小皿 | NS-N7/ | 灰白 1.5NR8/1 | 灰白 1.5NR8/1 | ■・少 | (8.2) | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 口縁部微片 | 瓦質 |
| 14 | S001 | 土師器 | 小皿 | NS-N7/ | 灰白 1.5NR8/2 | 灰白 1.5NR8/2 | ■・少 | (8.2) | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 口縁部微片 | 瓦質 |
| 15 | S001 | 土師器 | 小皿 | NS-N7/ | 灰白 1.5NR8/1 | 灰白 1.5NR8/2 | ■・少 | (8.6) | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 口縁部微片 | 瓦質 |
| 16 | S001 | 土師器 | 小皿 | NS-N7/ | 灰白 1.5NR8/2 | 灰白 1.5NR8/2 | 中・少 | (8.5) | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 口縁部微片 | 瓦質 |
| 17 | S001 | 土師器 | 小皿 | NS-N7/ | 灰白 2.5NR8/1 | 灰白 2.5NR8/2 | 中・少 | (0.9) | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 口縁部微片 | 瓦質 |
| 18 | S001 | 土師器 | 小皿 | NS-N7/ | 灰白 2.5NR8/3 | 灰白 2.5NR8/3 | ■・少 | (9.0) | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 口縁部微片 | 瓦質 |
| 19 | S001 | 土師器 | 小皿 | NS-N7/ | 灰白 2.5NR8/4 | 灰白 2.5NR8/4 | ■・少 | (9.0) | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 口縁部微片 | 瓦質 |
| 20 | S001 | 土師器 | 小皿 | NS-N7/ | 灰白 2.5NR8/6 | 灰白 2.5NR8/6 | ■・少 | (10.1) | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 口縁部微片 | 瓦質 |
| 21 | S001 | 土師器 | 小皿 | NS-N7/ | 灰白 1.5NR8/1 | 灰白 1.5NR8/1 | ■・少 | (8.6) | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 口縁部微片 | 瓦質 |
| 22 | S001 | 土師器 | 小皿 | NS-N7/ | 灰白 2.5NR8/1 | 灰白 2.5NR8/1 | ■・少 | (8.8) | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 口縁部微片 | 瓦質 |
| 23 | S001 | 土師器 | 小皿 | NS-N7/ | 灰白 2.5NR8/4 | 灰白 2.5NR8/4 | ■・少 | (7.8) | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 口縁部微片 | 瓦質 |
| 24 | S001 | 土師器 | 三 | NS-N7/ | 灰白 2.5NR8/1 | 灰白 2.5NR8/2 | ■・少 | (14.6) | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 口縁部微片 | 瓦質 |
| 25 | S001 | 黑色土器 | 輪 | NS-N7/ | 灰白 2.5NR8/1 | 灰白 2.5NR8/1 | ■・少 | (14.2) | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 口縁部微片 | 瓦質 |
| 26 | S001 | 土師器 | 輪 | NS-N7/ | 灰白 1.5NR8/1 | 灰白 2.5NR8/1 | ■・少 | (14.1) | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 口縁部微片 | 瓦質 |
| 27 | S001 | 土師器 | 輪 | NS-N7/ | 灰白 1.5NR8/2 | 灰白 1.5NR8/2 | ■・少 | (14.3) | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 口縁部微片 | 瓦質 |
| 28 | S001 | 土師器 | 輪 | NS-N7/ | 灰白 1.5NR8/1 | 灰白 1.5NR8/1 | ■・少 | (16.8) | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 口縁部微片 | 瓦質 |
| 29 | S001 | 土師器 | 輪 | NS-N7/ | 灰白 1.5NR8/1 | 灰白 1.5NR8/1 | ■・少 | (7.4) | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 口縁部微片 | 瓦質 |
| 30 | S001 | 土師器 | 輪 | NS-N7/ | 灰白 2.5NR8/1 | 灰白 2.5NR8/1 | 中・少 | (7.6) | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 口縁部微片 | 瓦質 |
| 31 | S001 | 土師器 | 輪 | NS-N7/ | 灰白 1.5NR8/2 | 灰白 1.5NR8/2 | ■・少 | (4.8) | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 後赤土・回転形 | 回転形 | 口縁部微片 | 瓦質 |

| 編文 番号 | 規格 通稱名 | 種類 | 器種 | 色調 | | | 土質 | 法 面 | 基面 (cm) | その他 (cm) | 調査 | | 現存率 | 備考 | |
|----------|-----------|-------|------------|-------------|-------------|-------|--------|--------|------------|-------------|----|----|-----|--------|--------------|
| | | | | 外面 | 内面 | 砂粒 | | | | | 外部 | 内部 | | | |
| 32 SD01 | 土師壺 | 杯 | | 灰白2.5/8.4 | 灰白2.5/8.2 | 灰・少 | (16.0) | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様部2.8 | 内部に濃淡の斑が生じる |
| 33 SD01 | 土師壺 | 瓶 | | 灰白2.5/8.4 | 灰白2.5/8.1 | 灰・少 | (16.0) | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様部3.8 | 同様部後縁付 |
| 34 SD01 | 土師壺 | 瓶 | | 灰白10YR8/2 | 灰白10YR8/1 | 灰・少 | (7.0) | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様部3.8 | ・切り妻付高台 |
| 35 SD01 | 土師壺 | 瓶 | | 灰白10YR8/1 | 灰白10YR8/1 | 灰・少 | (5.9) | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様部3.8 | 貼り付け高台摩滅部す |
| 36 SD01 | 土師壺 | 瓶 | | 灰灰10YR4/1 | 灰灰10YR4/1 | 灰・少 | (6.6) | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様部2.8 | 黒褐色付 |
| 37 SD01 | 土師壺 | 瓶 | | 灰白10YR8/1 | 灰白10YR8/1 | 灰・少 | (5.0) | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様部2.8 | 貼り付け高台 |
| 38 SD01 | 土師壺 | 瓶 | | 灰白10YR8/2 | 灰白10YR8/2 | 灰・少 | (6.2) | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様部1.8 | 黒褐色付土板でふさぐ |
| 39 SD01 | 土師壺 | 高杯 | | 灰白10YR8/2 | 灰白10YR8/2 | 中・少 | (8.8) | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様部2.8 | 黒褐色付高台 |
| 40 SD01 | 土師壺 | 高杯 | | 灰白10YR8/2 | 灰白10YR8/2 | 中・少 | (8.0) | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様部2.8 | 黒褐色付 |
| 41 SD01 | 土師壺 | 瓶 | | 灰灰7.5/8.1 | 灰灰7.5/8.1 | 灰・少 | (3.2) | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様部2.8 | 外側に黒斑 |
| 42 SD01 | 土師壺 | 瓶 | | 灰白2.5/8.2 | 灰白2.5/8.3 | 灰・多 | (6.2) | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様部2.8 | 外側に黒斑 |
| 43 SD01 | 土師壺 | 不明土製品 | 灰黄褐10YR8/3 | 灰白2.5/8.1 | 灰白2.5/8.1 | 灰・少 | (15.0) | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様部2.8 | 外側に黒斑 |
| 44 SD01 | 黑色土器 | 碗 | | 灰白2.5/8.4 | 灰白2.5/8.4 | 灰・少 | (7.4) | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様部2.8 | 外側に黒斑 |
| 45 SD01 | 黑色土器 | 碗 | | 灰白10YR8/1 | 灰白10YR8/1 | 灰・少 | (7.4) | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様部2.8 | 外側に黒斑 |
| 46 SD01 | 黑色土器 | 碗 | | 灰白2.5/8.2 | 灰白2.5/8.2 | 灰・少 | (5.6) | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様部2.8 | 外側に黒斑 |
| 47 SD01 | 黑色土器 | 碗 | | 灰白10YR8/2 | 灰白10YR8/1 | 灰・少 | (8.0) | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様部2.8 | 外側に黒斑 |
| 48 SD01 | 黑色土器 | 碗 | | 灰白2.5/8.3 | 灰白2.5/8.3 | 灰・少 | (7.0) | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様部2.8 | 外側に黒斑 |
| 49 SD01 | 黑色土器 | 碗 | | 灰白2.5/8.3 | 灰白2.5/8.3 | 灰・少 | (5.9) | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様部2.8 | 外側に黒斑 |
| 50 SD01 | 瓦器 | 瓶 | | 青灰5B5/1 | 青灰5B5/1 | 灰・少 | (15.0) | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様部2.8 | 外側に黒斑 |
| 51 SD01 | 瓦器 | 瓶 | | 灰N4/1 | 灰N4/1 | 灰・少 | (5.5) | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様部2.8 | 外側に黒斑 |
| 55 SD02 | 口盤 | 瓶 | | 灰N1/88/ | 灰N1/88/ | 灰・少 | (6.4) | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様部2.8 | 外側に黒斑 |
| 57 SD03 | 灰漆器 | 甕 | | 灰N5/1 | 灰N5/1 | 灰・少 | (8.4) | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様部2.8 | 外側に黒斑 |
| 58 SD03 | 灰漆器 | 甕 | | 灰白2.5/8.1 | 灰白2.5/8.1 | 灰・少 | (6.8) | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様部2.8 | 外側に黒斑 |
| 59 SD03 | 土師壺 | 瓶 | | 灰白2.5/8.8/2 | 灰白2.5/8.8/2 | 灰・少 | (7.6) | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様部2.8 | 外側に黒斑 |
| 60 SD03 | 高台付壺 | 瓶 | | 灰白2.5/8.8/1 | 灰白2.5/8.8/1 | 灰・多 | (6.8) | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様部2.8 | 外側に黒斑 |
| 61 SD03 | 土師壺 | 不明土製品 | 灰白2.5/8.1 | 灰白2.5/8.1 | 灰・少 | (7.6) | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様部2.8 | 外側に黒斑 |
| 63 SD04 | 泥漆器 | 杯 | | 灰白N8/ | 灰白N8/ | 中・少 | (14.0) | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様部1.8 | 口縁部外側に 黒化 |
| 64 SD04 | 泥漆器 | 杯 | | 灰白N8/ | 灰白N8/ | 灰・少 | (12.8) | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様部1.8 | 口縁部外側に 黒化 |
| 65 SD04 | 泥漆器 | 杯 | | 灰白N7/ | 灰白N7/ | 灰・少 | (13.6) | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様部1.8 | 口縁部外側に 黒化 |
| 66 SD04 | 泥漆器 | 杯 | | 灰白N7/ | 灰白N7/ | 灰・少 | (6.8) | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様部8/8 | 貼り付け高台 |
| 67 SD04 | 泥漆器 | 杯 | | 灰白5Y8/1 | 灰白5Y8/1 | 灰・少 | (6.8) | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様 | 同様部8/8 | 貼り付け高台 |

| 編文 番号 | 編 道場名 | 種 類 | 器 種 | 色 調 | 土 質 | 法 則 | 量 (cm) | 外 部 (cm) | 内 部 (cm) | 測 量 | 性 質 | 残 存 率 | 備 考 |
|----------|----------|--------|------------|--------|---------|----------|----------------|------------------|-----------------------------|--------|--------------|-------------|--------|
| 68 SD04 | 須惠器 | 壺 | K61.5N7/1 | 灰白 | NG/ | 口括 砂粒 | 中・少 (1.58) | 口括 内面 (cm) | 格子目付・板状足組 回転行・S切り 回転行 | 後板行 | 底部2.8 十面窓 | | |
| 69 SD04 | 土師器 | 小皿 | K61.5N7/1 | 灰白 | 3N7/1 | 口括 繩 | 中・少 (1.1) | 口括 内面 (cm) | 格子目付・S切り 回転行 | 後板行 | 底部2.8 十面窓 | | |
| 70 SD04 | 土師器 | 碗 | K61.5N6/6 | 輪 | 2.5N6/6 | 口括 繩 | 中・少 (6.8) | 口括 内面 (cm) | 格子目付・S切り 回転行 | 後板行 | 底部1.8 十面窓 | 縫合付 | |
| 71 SD04 | 土師器 | 碗 | K61.5N8/1 | 灰白 | 5N8/1 | 口括 繩 | 中・少 (6.8) | 口括 内面 (cm) | 格子目付・後打・回転行 S切り | 後板行 | 底部3.8 十面窓 | 縫合付 | |
| 72 SD04 | 土師器 | 小明土製品 | K61.5N8/1 | 灰白 | 5N8/1 | 口括 繩 | 中・多 (3.4) | 口括 内面 (cm) | 格子目付・後打・回転行 S切り | 後板行 | 底部3.8 十面窓 | 縫合付 | |
| 73 SD04 | 土製品 | 小明土製品 | K61.10N8/4 | 赤褐 | 10N8/4 | 口括 繩 | 中・多 (3.9) | 口括 内面 (cm) | 格子目付・後打・回転行 S切り | 後板行 | 底部3.8 十面窓 | 縫合付 | |
| 75 SD05 | 須恵器 | 壺 | K61.10N7/1 | 灰白 | 10N7/1 | 口括 繩 | 中・少 (6.4) | 口括 内面 (cm) | 平行3行・回転行・回転行 S切り | 内側文透行 | 底部2.8 十面窓 | | |
| 76 SD05 | 土師器 | 小皿 | K61.10N8/2 | 灰白 | 10N8/2 | 口括 繩 | 中・少 (9.4) | 口括 内面 (cm) | 平行3行・回転行・回転行 S切り | 内側文透行 | 底部2.8 十面窓 | | |
| 77 SD05 | 土師器 | 杯 | K61.10N8/2 | 灰白 | 10N8/2 | 口括 繩 | 中・少 (14.8) | 口括 内面 (cm) | 平行3行・回転行 S切り | 内側文透行 | 底部2.8 十面窓 | | |
| 78 SD05 | 土師器 | 土鍋 | K61.25N7/2 | 灰白 | 2.5N7/2 | 口括 繩 | 中・多 (6.4) | 口括 内面 (cm) | 平行3行・回転行 S切り | 内側文透行 | 底部2.8 十面窓 | | |
| 79 SD05 | 黑色土器 | 碗 | K61.25N8/1 | 灰白 | N4/ | 口括 繩 | 中・少 (6.4) | 口括 内面 (cm) | 平行3行・回転行 S切り | 内側文透行 | 底部2.8 十面窓 | | |
| 80 SD05 | 黑色土器 | 碗 | K61.10N8/2 | 灰白 | 2.3N4/1 | 口括 繩 | 中・少 (7.7) | 口括 内面 (cm) | 平行3行・回転行 S切り | 内側文透行 | 底部2.8 十面窓 | | |
| 81 SD07 | 須恵器 | 皿 | K61.5N/ | 灰 | NG/ | 口括 繩 | 中・少 (8.6) | 口括 内面 (cm) | 平行3行・回転行 S切り | 内側文透行 | 底部1.8 十面窓 | | |
| 82 SD07 | 須恵器 | 皿 | K61.5N5/ | 灰 | 1.5N5/ | 口括 繩 | 中・少 (7.2) | 口括 内面 (cm) | 平行3行・回転行 S切り | 内側文透行 | 底部1.8 十面窓 | | |
| 83 SD07 | 須恵器 | 杯 | K61.5N7/ | 灰 | 1.5N7/ | 口括 繩 | 中・少 (7.2) | 口括 内面 (cm) | 平行3行・回転行 S切り | 内側文透行 | 底部1.8 十面窓 | | |
| 84 SD07 | 須恵器 | 蓋 | K61.5N8/1 | 灰白 | 5N7/1 | 口括 繩 | 中・少 (11.78) | 口括 内面 (cm) | 縫み2.2行 | 回転行 | 底部2.8 十面窓 | | |
| 85 SD07 | 須恵器 | 蓋 | K61.5N/ | 灰 | NS5/ | 口括 繩 | 中・少 (11.68) | 口括 内面 (cm) | 縫み2.0行 | 回転行 | 底部2.8 十面窓 | | |
| 86 SD07 | 須恵器 | 蓋 | K61.5N/ | 灰 | NS5/ | 口括 繩 | 中・少 (11.68) | 口括 内面 (cm) | 縫み2.0行 | 回転行 | 底部2.8 十面窓 | | |
| 87 SD07 | 須恵器 | 蓋 | K61.5N/ | 灰 | NS5/ | 口括 繩 | 中・少 (11.68) | 口括 内面 (cm) | 縫み2.0行 | 回転行 | 底部2.8 十面窓 | | |
| 88 SD07 | 須恵器 | 蓋 | K61.5N/ | 灰 | NS5/ | 口括 繩 | 中・少 (11.68) | 口括 内面 (cm) | 縫み2.0行 | 回転行 | 底部2.8 十面窓 | | |
| 89 SD07 | 須恵器 | 蓋 | K61.5N/ | 灰 | NS5/ | 口括 繩 | 中・少 (11.68) | 口括 内面 (cm) | 縫み2.0行 | 回転行 | 底部2.8 十面窓 | | |
| 90 SD07 | 須恵器 | 蓋 | K61.5N7/1 | 灰 | 1.5N6/1 | 口括 繩 | 中・少 (11.68) | 口括 内面 (cm) | 縫み2.0行 | 回転行 | 底部2.8 十面窓 | | |
| 91 SD07 | 須惠器 | 杯身 | K61.5N6/ | 灰 | 1.5N6/ | 口括 繩 | 中・少 (11.68) | 口括 内面 (cm) | 縫み2.0行 | 回転行 | 底部2.8 十面窓 | | |
| 92 SD07 | 須惠器 | 杯身 | K61.5N7/ | 灰 | 1.5N7/ | 口括 繩 | 中・少 (11.68) | 口括 内面 (cm) | 縫み2.0行 | 回転行 | 底部2.8 十面窓 | | |
| 93 SD07 | 須恵器 | 杯 | K61.5N6/ | 灰 | 1.5N6/ | 口括 繩 | 中・少 (11.68) | 口括 内面 (cm) | 縫み2.0行 | 回転行 | 底部2.8 十面窓 | | |
| 94 SD07 | 須惠器 | 杯 | K61.5N7/ | 灰 | 1.5N7/ | 口括 繩 | 中・少 (11.68) | 口括 内面 (cm) | 縫み2.0行 | 回転行 | 底部2.8 十面窓 | | |
| 95 SD07 | 須惠器 | 杯 | K61.5N7/ | 灰 | 1.5N7/ | 口括 繩 | 中・少 (11.68) | 口括 内面 (cm) | 縫み2.0行 | 回転行 | 底部2.8 十面窓 | | |
| 96 SD07 | 須惠器 | 杯 | K61.5N6/ | 灰 | 1.5N6/ | 口括 繩 | 中・少 (11.68) | 口括 内面 (cm) | 縫み2.0行 | 回転行 | 底部2.8 十面窓 | | |
| 97 SD07 | 須惠器 | 杯 | K61.5N6/ | 灰 | 1.5N6/ | 口括 繩 | 中・少 (11.68) | 口括 内面 (cm) | 縫み2.0行 | 回転行 | 底部2.8 十面窓 | | |

第4表 遺物觀察表(土器) 3

| 編 号 | 規 格 | 規 格名 | 種 類 | 器 械 | 色 | | 調 節 | 量 度 | 外 部 | 内 部 | そ の 他 | 実行率 | 備 考 | |
|--------|--------|---------|--------|----------------------|----------------------|--------|--------|--------|-----------|-----------|-------------|---------------|--------------------|--------|
| | | | | | 外 面 | 内 面 | | | | | | | | |
| 98 | S007 | 須忠器 | 輪 | 昭灰 1DY86/1 | 灰 5Y4/1 | ■・少 | | | 回転子・杆 | 回転子 | | 底部 1/8 | 摩滅が強 粘り付け高 度 | |
| 99 | S007 | 須忠器 | 輪 | 昭灰 1DY86/1 | 灰 N6/ | ■・多 | | | 回転子・回転子アリ | 回転子 | | 底部 1/8 | 底出しが高 度 | |
| 100 | S007 | 須忠器 | 輪 | 昭灰 1DY86/1 | 灰白 10YR7/1 | ■・少 | | | 回転子・回転子アリ | 回転子 | | 底部 2/8 | 底出しが高 度 | |
| 101 | S007 | 須忠器 | 輪 | 昭灰 1DY86/1 | 灰 N6/ | ■・少 | | | 回転子・回転子アリ | 回転子 | | 底部 2/8 | 底出しが高 度 | |
| 102 | S007 | 須忠器 | 輪 | 灰 N4/ | 灰 N5/ | ■・少 | | | 回転子 | 回転子 | | 底部 2/8 | 外側にゴマ袋 の自然軸 | |
| 103 | S007 | 須忠器 | 輪 | 灰白 10YR7/1 | 灰 7/5Y8/1 | ■・少 | | | 回転子・回転子 D | 回転子 | | 底部 6/8 | が付着 が付着 | |
| 104 | S007 | 須忠器 | 輪 | 灰 N5/ | 灰 N5/ | 中・少 | | | 回転子・回転子アリ | 回転子 | | 底部 2/8 | 内側の一端に自然軸が 付着 | |
| 105 | S007 | 須忠器 | 齒 | 灰 N4/ | 灰 N5/ | ■・少 | | | 回転子・回転子アリ | 回転子 | | 底部 2/8 | | |
| 106 | S007 | 須忠器 | 齒 | 灰白 10YR7/1 | 灰白 10YR7/1 | ■・少 | | | 回転子・回転子アリ | 回転子 | | 底部 2/8 | 青白又が難だ け | |
| 107 | S007 | 須忠器 | 齒 | 灰白 7/5Y8/1 | 灰白 N7/ | ■・少 | | | 回転子・回転子アリ | 回転子 | | 底部 1/8 残 度 | 口輪部 1/8 残 度 | |
| 108 | S007 | 須忠器 | 齒 | 灰 N5/ | 灰 N5/ | 中・少 | (30.3) | | 回転子・回転子アリ | 回転子 | | 底部 2/8 | 当て目録をさす と止まつた | |
| 109 | S007 | 須忠器 | 齒 | 灰白 N8/ | 灰白 N8/ | 中・少 | (26.2) | | 回転子・回転子アリ | 回転子 | | 口輪部破片 | 誰の可能性あり 摩滅がますむ | |
| 110 | S007 | 須忠器 | 齒 | 灰白 N7/ | 灰白 N7/ | 中・少 | (13.4) | | 回転子・回転子アリ | 回転子 | | 口輪部破片 | 摩滅がますむ | |
| 111 | S007 | 須忠器 | 歯 | 灰白 N7/ | 灰白 N7/ | 中・少 | 11.4 | | 回転子・回転子アリ | 回転子 | | 底部 2/8 | | |
| 112 | S007 | 縁輪回輪器 | 歯 | 輪：灰白 5M7/1 10W7/3 | 輪：灰白 5M7/1 10W7/3 | ■・少 | | | 回転子・後施輪 | 回転子・後施輪 | | 底部 3/8 | | |
| 113 | S007 | 縁輪回輪器 | 歯 | 輪：才リーフ歯 5G7/6 | 輪：才リーフ歯 2-3G7/6 | ■・少 | | | 回転子・後施輪 | 回転子・後施輪 | | 口輪部破片 | 小さな凹状の 突起がある | |
| 114 | S007 | 縁輪回輪器 | 歯 | 輪：灰白 10YR7/1 | 輪：灰白 10YR7/1 | ■・少 | | | 回転子・後施輪 | 回転子・後施輪 | | 底部 2/8 | 摩滅がますむ | |
| 115 | S007 | 縁輪回輪器 | 歯 | 輪：灰白 5M7/8/2 | 輪：灰白 5M7/8/2 | ■・少 | 6.1 | | 回転子・後施輪 | 回転子・後施輪 | | 底部 8/8 | 底面各部 底面 | |
| 116 | S007 | 白磁 | 歯 | 灰白 5M7/8/1 | 灰白 5M7/8/1 | 無 | (13.8) | | 回転子・後施輪 | 回転子・後施輪 | | 口輪部破片 | 白磁 | |
| 117 | S007 | 土銷器 | 小皿 | 灰白 N8/ | 灰白 N8/ | 中・少 | (8.4) | 1.2 | (6.0) | 回転子・回転子アリ | 回転子 | | 口輪部破片 | 摩滅がますむ |
| 118 | S007 | 土銷器 | 小皿 | 灰黄相 10YR8/3 | 灰黄相 10YR8/3 | ■・少 | (8.4) | 1.6 | 回転子・回転子アリ | 回転子 | | 口輪部 2/8 | 摩滅がますむ | |
| 119 | S007 | 土銷器 | 小皿 | 灰黄相 10YR8/3 | 灰黄相 10YR8/3 | ■・少 | (8.6) | 1.9 | 回転子・回転子アリ | 回転子 | | 底部 2/8 | 底部 2/8 | |
| 120 | S007 | 土銷器 | 小皿 | 灰白 10YR8/1 | 灰白 10YR8/1 | ■・少 | (8.8) | 1.4 | 回転子・回転子アリ | 回転子 | | 口輪部 3/8 | | |
| 121 | S007 | 土銷器 | 小皿 | 灰黄相 10YR8/3 | 灰黄相 10YR8/3 | ■・少 | (9.3) | 1.7 | 回転子・回転子アリ | 回転子 | | 口輪部 6/8 | 見込みに仕 合せ | |
| 122 | S007 | 土銷器 | 小皿 | 灰黄相 5YR8/4 | 灰白 10YR8/2 | 中・少 | (9.1) | 1.7 | 回転子・回転子アリ | 回転子 | | 口輪部 2/8 | | |
| 123 | S007 | 土銷器 | 小皿 | 灰 5YR7/6 | 灰 5YR7/6 | ■・少 | (9.8) | 1.6 | 回転子・回転子アリ | 回転子 | | 口輪部 1/8 | 摩滅がますむ | |
| 124 | S007 | 土銷器 | 小皿 | 灰白 10YR8/2 | 灰白 10YR8/2 | ■・少 | (9.8) | 1.7 | 回転子・回転子アリ | 回転子 | | 口輪部 2/8 | | |
| 125 | S007 | 土銷器 | 小皿 | 灰黄相 7/5Y8/4 | 灰白 10YR8/3 | ■・少 | (10.4) | 2.5 | 回転子・回転子アリ | 回転子 | | 底部 2/8 | 底入品 | |
| 126 | S007 | 土銷器 | 小皿 | 灰白 5M7/8/1 | 灰白 5M7/8/1 | 中・少 | (13.8) | 3.5 | 回転子・回転子アリ | 回転子 | | 口輪部 1/8 | 摩滅がますむ | |
| 127 | S007 | 土銷器 | 小皿 | 灰白 5M7/8/1 | 灰白 5M7/8/1 | ■・少 | (14.4) | 3.0 | 回転子・回転子アリ | 回転子 | | 口輪部 8/1 | 摩滅がますむ | |
| 128 | S007 | 土銷器 | 小皿 | 灰白 5M7/8/1 | 灰白 5M7/8/1 | ■・少 | (15.0) | 3.0 | 回転子・回転子アリ | 回転子 | | 口輪部 2/8 | | |

第5表 遺物観察表(土器) 4

| 編 號 | 編 號名 | 種 類 | 器 械 | 色 | 調 理 | 土 | 法 | 留 法 | 調 情 | | 外 部 | 内 部 | 發 存率 | 備 考 |
|--------|---------|--------|--------|----|---------|----|----------|--------|-----------|-----------|----------|----------|---------|------------------|
| | | | | | | | | | 長 (cm) | 寬 (cm) | | | | |
| 129 | SD07 | 土師器 | 杯 | 灰白 | 2.578±1 | 灰白 | 1.578±1 | 砂灰 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 口縫部 1/8 | 外曲の一部に裂け音 |
| 130 | SD07 | 土師器 | 杯 | 灰白 | 1.078±1 | 灰灰 | 2.078±1 | 砂灰 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 口縫部 2/8 | 外曲の一部に裂け音 |
| 131 | SD07 | 土師器 | 杯 | 灰白 | 2.578±2 | 灰灰 | 1.7578±2 | 砂灰 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 口縫部 3/8 | 裂け音が付すむ |
| 132 | SD07 | 土師器 | 杯 | 灰青 | 7.578±4 | 灰灰 | 7.578±2 | 砂灰 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 底部 1/8 | 裂け音が付すむ |
| 133 | SD07 | 土師器 | 杯 | 灰白 | 2.578±2 | 灰灰 | 2.577±2 | 砂灰 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 底部 1/8 | 裂け音が付すむ |
| 134 | SD07 | 土師器 | 杯 | 灰青 | 7.578±4 | 灰青 | 7.578±4 | 砂灰 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 底部 1/8 | 裂け音が付すむ |
| 135 | SD07 | 土師器 | 杯 | 灰青 | 1.078±3 | 灰青 | 1.578±3 | 砂灰 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 底部 1/8 | 裂け音が付すむ |
| 136 | SD07 | 土師器 | 杯 | 灰青 | 7.578±4 | 灰青 | 7.578±4 | 砂灰 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 底部 2/8 | 裂け音が付すむ |
| 137 | SD07 | 土師器 | 杯 | 灰青 | 7.578±3 | 灰青 | 7.578±2 | 砂灰 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 底部 1/8 | 裂け音が付すむ |
| 138 | SD07 | 土師器 | 杯 | 灰 | 578±8 | 灰灰 | 578±8 | 砂灰 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 底部 1/8 | 裂け音が付すむ |
| 139 | SD07 | 土師器 | 杯 | 灰白 | 1.078±2 | 灰白 | 1.078±2 | 砂灰 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 底部 2/8 | 底面に黒茶の皮膜が付 すむ |
| 140 | SD07 | 土師器 | 杯 | 灰青 | 7.578±6 | 灰青 | 7.578±6 | 砂灰 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 底部 2/8 | 裂け音が付すむ |
| 141 | SD07 | 土師器 | 碗 | 灰青 | 1.078±3 | 灰青 | 1.078±3 | 砂灰 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 底部 1/8 | 裂け音が付すむ |
| 142 | SD07 | 土師器 | 碗 | 灰青 | 1.078±2 | 灰灰 | 1.078±1 | 砂灰 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 底部 1/8 | 裂け音が付すむ |
| 143 | SD07 | 土師器 | 碗 | 灰 | 2.574±1 | 灰黄 | 2.574±1 | 砂灰 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 底部 1/8 | 裂け音が付すむ |
| 144 | SD07 | 土師器 | 碗 | 灰青 | 1.078±2 | 灰灰 | 2.578±2 | 砂灰 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 底部 1/8 | 裂け音が付すむ |
| 145 | SD07 | 土師器 | 碗 | 灰青 | 7.578±4 | 灰青 | 7.578±4 | 砂灰 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 底部 1/8 | 裂け音が付すむ |
| 146 | SD07 | 土師器 | 碗 | 灰 | 578±6 | 灰 | 578±6 | 砂灰 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 底部 1/8 | 裂け音が付すむ |
| 147 | SD07 | 土師器 | 碗 | 灰青 | 2.578±2 | 灰青 | 2.578±2 | 砂灰 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 底部 1/8 | 裂け音が付すむ |
| 148 | SD07 | 土師器 | 碗 | 灰青 | 7.578±2 | 灰灰 | 1.078±4 | 砂灰 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 底部 1/8 | 裂け音が付すむ |
| 149 | SD07 | 土師器 | 上皿 | 灰青 | 2.577±2 | 灰灰 | 2.577±2 | 砂灰 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 底部 1/8 | 外曲の一部に裂け音 |
| 150 | SD07 | 黑色土器 | 碗 | 黑褐 | 578±1 | 黑褐 | 578±1 | 砂灰 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 底部 1/8 | 底面に黒茶の皮膜 |
| 151 | SD07 | 黑色土器 | 碗 | 黑褐 | 2.578±1 | 黑褐 | 1.078±1 | 砂灰 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 底部 1/8 | 底面に黒茶の皮膜 |
| 152 | SD07 | 黑色土器 | 碗 | 黑褐 | 1.078±3 | 黑褐 | 1.574±1 | 砂灰 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 底部 1/8 | 底面に黒茶の皮膜 |
| 153 | SD07 | 黑色土器 | 碗 | 黑褐 | 1.078±1 | 黑褐 | 1.078±1 | 砂灰 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 底部 1/8 | 底面に黒茶の皮膜 |
| 154 | SD07 | 黑色土器 | 碗 | 黑褐 | 578±6 | 黑褐 | 1.078±1 | 砂灰 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 底部 1/8 | 底面に黒茶の皮膜 |
| 155 | SD07 | 黑色土器 | 碗 | 黑褐 | 2.578±2 | 黑褐 | 1.078±1 | 砂灰 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 底部 1/8 | 底面に黒茶の皮膜 |
| 156 | SD07 | 黑色土器 | 碗 | 黑褐 | 1.078±2 | 黑褐 | 1.078±1 | 砂灰 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 底部 1/8 | 底面に黒茶の皮膜 |
| 157 | SD07 | 黑色土器 | 碗 | 黑褐 | 2.578±1 | 黑褐 | 1.078±1 | 砂灰 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 底部 1/8 | 底面に黒茶の皮膜 |
| 158 | SD07 | 黑色土器 | 碗 | 黑褐 | 1.078±2 | 黑褐 | 1.078±1 | 砂灰 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 圓孔切 口 | 底部 1/8 | 底面に黒茶の皮膜 |

第6表 遺物調査表 (土器) 5

| 器名 番号 | 製作 年 | 種類 | 器種 | 外画 内面 | 寸法 (m) | 砂輪 (m) | 寸法 (m) | 器高 (m) | 寸法 (cm) | 寸法 (cm) | 調 量 | | 保管 | 備 考 |
|----------|---------|----|-----------------|---------------------|-----------|-----------|-------------|-----------|------------|------------|---------|----------|--------------|--------|
| | | | | | | | | | | | 土 面 | 外部 内面 | 外部 内面 | |
| 159 SD07 | 黒色土器 | 陶 | 七点鉢 | 暗灰N3V 黒褐7.5VR7/1 | 中・少 | 5.9 | 回転小切り回転輪下 | 12.4 | | | 底面2/8 | 内黒 | 貼り付け高台 | |
| 160 SD07 | 黒色土器 | 陶 | 四脚灰7.5VR7/1 | 黒褐10VR3/1 | 罐・少 | | | | | | 底面6/8 | 内黒 | 貼り付け高台 | |
| 180 SD08 | 須恵器 | 盞 | 灰白2.5VS8/1 | 灰白2.5VS8/1 | 罐・少 | (12.6) | 回転小切り・回転輪下 | 13.1 | | | 口縁部1/8 | | | |
| 181 SD08 | 須恵器 | 盞 | 灰N6/ | 灰N6/ | 罐・少 | | 回転小切り・回転輪下 | 13.0 | | | 底面1/8 | | 内側面に火薬斑あり | |
| 182 SD08 | 土師器 | 杯 | 灰褐7.5VR6/2 | 灰褐7.5VR6/2 | 罐・少 | (12.2) | 回転小切り・回転輪下 | 13.0 | | | 口縁部1/8 | | | |
| 183 SD08 | 土師器 | 杯 | 灰5点鉢5VR6/3 | 灰5点鉢5VR6/4 | 罐・少 | (12.4) | 回転小切り・回転輪下 | 13.0 | | | 口縁部1/8 | | | |
| 184 SD08 | 土師器 | 皿 | 相5YR76 | 浅黄褐10YR8/3 | 罐・少 | 10.2 | 回転小切り・回転輪下 | 13.0 | | | 口縁部3/8 | | | |
| 185 SD08 | 土師器 | 陶 | 灰白7.5VR8/2 | 浅黄褐10YR8/3 | 中・少 | | 回転小切り・回転輪下 | 13.0 | | | 底面2/8 | | 貼り付け高台 | |
| 187 包含層 | 須恵器 | 陶 | 輪・灰白5GVS8/1 | 輪・灰白5GVS8/1 | 輪・少 | | | | | | 底面2/8 | | 貼り付け高台 | |
| 188 包含層 | 土師器 | 小皿 | 16明工製品灰2.5VS8/1 | 灰黄褐10YR5/2 | 中・少 | (6.2) | 回転小切り・回転輪下 | 13.2 | | | 底面3/8 | | 用意不明 | |
| 189 包含層 | 土師器 | 陶 | 灰5点鉢10YR7/2 | 灰白5YR8/1 | 罐・少 | | 回転小切り・回転輪下 | 13.2 | | | 底面3/8 | | 底面要修理1個あり | |
| 190 包含層 | 土師器 | 陶 | 相5YR8/1 | 灰白5YR8/1 | 罐・少 | | 回転小切り・回転輪下 | 13.2 | | | 底面4/8 | | 貼り付け高台 | |
| 192 包含層 | 須恵器 | 陶 | 相5YR7/ | 灰白N7/ | 罐・少 | | 回転小切り・回転輪下 | 13.2 | | | 底面2/8 | | 内側面に火薬斑 | |
| 193 包含層 | 土師器 | 小皿 | 相10YR8/2 | 灰白10YR8/2 | 罐・少 | (6.0) | 回転小切り・回転輪下 | 13.2 | | | 底面8/8 | | 貼り付け高台 | |
| 194 包含層 | 土師器 | 小皿 | 相2.5VS8/2 | 灰白2.5VS8/1 | 罐・少 | (8.4) | 回転小切り・回転輪下 | 13.2 | | | 口縁部2/8 | | | |
| 195 包含層 | 土師器 | 小皿 | 灰5点鉢5VR7/3 | 灰白10YR5/1 | 罐・少 | (9.0) | 回転小切り・回転輪下 | 13.2 | | | 口縁部3/8 | | | |
| 196 包含層 | 土師器 | 杯 | 相7.5VR8/1 | 灰白7.5VR8/2 | 罐・少 | (13.2) | 回転小切り・回転輪下 | 13.2 | | | 口縁部3/8 | | 摩滅文味 | |
| 197 包含層 | 土師器 | 杯 | 灰白5YR8/1 | 灰白5YR8/1 | 罐・少 | | 回転小切り・回転輪下 | 13.2 | | | 底面2/8 | | 摩滅が著しい。 | |
| 198 包含層 | 土師器 | 杯 | 灰白2.5VS8/1 | 灰白2.5VS8/1 | 罐・少 | | 回転小切り・回転輪下 | 13.2 | | | 底面5/8 | | | |
| 199 包含層 | 土師器 | 脚台 | 灰5点鉢5VR7/4 | 灰5点鉢5VR7/4 | 罐・少 | | 回転小切り・回転輪下 | 13.2 | | | 小形長径の脚か | | | |
| 200 包含層 | 土師器 | 脚台 | 灰黄褐10YR8/2 | 灰白10YR8/3 | 罐・少 | | 回転小切り・回転輪下 | 13.2 | | | 底面4/8 | | 底面文様 | |
| 201 包含層 | 土師器 | 脚台 | 4明工製品灰1.5VS8/1 | 中・多 | 6.8 | 4.5 | 回転小・回転足 | 13.2 | | | 底面4/8 | | 用意不明 | |
| 202 包含層 | 土師器 | 脚台 | 4明工製品灰白2.5VS8/1 | 中・少 | 6.3 | 3.6 | 回転小・回転足 | 13.2 | | | 底面4/8 | | 用意不明 | |
| 203 包含層 | 土師器 | 脚台 | 4明工製品灰2.5VS8/2 | 中・少 | 6.3 | 3.6 | 回転小・回転足 | 13.2 | | | 底面4/8 | | 用意不明 | |
| 207 包含層 | 須恵器 | 杯 | 相11N7/ | 相11N7/ | 罐・少 | (17.0) | 回転小・回転足 | 13.2 | | | 口縁部1/8 | | 1輪半前面が部分的に黒化 | |
| 209 包含層 | 須恵器 | 杯 | 灰N6/ | 灰白N8/ | 罐・少 | | 回転小・回転足 | 13.2 | | | 底面4/8 | | 内側面に火薬斑 | |
| 210 包含層 | 須恵器 | 杯 | 灰白N8/ | 灰白N8/ | 罐・少 | | 回転小・回転足 | 13.2 | | | 底面5/8 | | 内側面に火薬斑 | |
| 211 包含層 | 須恵器 | 高杯 | 相11N8/ | 相11N8/ | 中・少 | | 回転小・後脚弱・回転足 | 13.2 | | | 底面8/8 | | 内面見込みにテテ明書 | |

第7表 遺物觀察表(土器) 6

| 規格番号 | 機器名 | 構成部品番号 | 種類 | 外観 | 色調 | 寸法 幅×奥行 (mm) | 回転半径 (mm) | 回転角度 (°) | 調節範囲 | | 内部 | 操作手順 |
|------|-----|---------|----|-------------|-------------|--------------------|--------------|-------------|------|------|----|-------------------------------|
| | | | | | | | | | 前 | 後 | | |
| 212 | 包装機 | 10YR8/3 | 黒 | 灰 N5/ | 灰 N5/ | 450×350 | 350 | ±90° | 回転半径 | 回転半径 | 内部 | 内側に自然軸がゴムが、外側に固定軸・固定板が、工具孔2ヶ所 |
| 213 | 包装機 | 10YR7/4 | 黒 | 灰 N7/ | 灰 N7/ | 450×350 | 350 | ±90° | 回転半径 | 回転半径 | 内部 | 内側にゴム軸の自然軸と工具孔2ヶ所 |
| 214 | 包装機 | 10YR8/2 | 黒 | 灰白 2.5Y8/2 | 灰白 2.5Y8/2 | 450×350 | 350 | ±90° | 回転半径 | 回転半径 | 内部 | 内側にゴム軸の自然軸と工具孔2ヶ所 |
| 215 | 包装機 | 10YR8/1 | 黒 | 灰白 2.5Y8/1 | 灰白 2.5Y8/1 | 450×350 | 350 | ±90° | 回転半径 | 回転半径 | 内部 | 内側にゴム軸の自然軸と工具孔2ヶ所 |
| 216 | 包装機 | 10YR7/2 | 黒 | 灰白 2.5Y8/2 | 灰白 2.5Y8/2 | 450×350 | 350 | ±90° | 回転半径 | 回転半径 | 内部 | 内側にゴム軸の自然軸と工具孔2ヶ所 |
| 217 | 包装機 | 10YR8/2 | 黒 | 灰白 10YR8/2 | 灰白 10YR8/2 | 450×350 | 350 | ±90° | 回転半径 | 回転半径 | 内部 | 内側にゴム軸の自然軸と工具孔2ヶ所 |
| 218 | 包装機 | 10YR8/3 | 黒 | 灰黄褐 10YR8/3 | 灰黄褐 10YR8/3 | 450×350 | 350 | ±90° | 回転半径 | 回転半径 | 内部 | 内側にゴム軸の自然軸と工具孔2ヶ所 |
| 219 | 包装機 | 10YR7/2 | 黒 | 灰白 1.5Y7/2 | 灰白 1.5Y7/2 | 450×350 | 350 | ±90° | 回転半径 | 回転半径 | 内部 | 内側にゴム軸の自然軸と工具孔2ヶ所 |
| 220 | 包装機 | 10YR7/1 | 黒 | 灰白 2.5Y8/1 | 灰白 2.5Y8/1 | 450×350 | 350 | ±90° | 回転半径 | 回転半径 | 内部 | 内側にゴム軸の自然軸と工具孔2ヶ所 |
| 221 | 包装機 | 10YR8/1 | 黒 | 灰白 N8/ | 灰白 N8/ | 450×350 | 350 | ±90° | 回転半径 | 回転半径 | 内部 | 内側にゴム軸の自然軸と工具孔2ヶ所 |
| 222 | 包装機 | 10YR8/2 | 黒 | 灰白 2.5Y6/1 | 灰白 2.5Y6/1 | 450×350 | 350 | ±90° | 回転半径 | 回転半径 | 内部 | 内側にゴム軸の自然軸と工具孔2ヶ所 |
| 223 | 包装機 | 10YR8/3 | 黒 | 灰白 N6/ | 灰白 N6/ | 450×350 | 350 | ±90° | 回転半径 | 回転半径 | 内部 | 内側にゴム軸の自然軸と工具孔2ヶ所 |
| 224 | 包装機 | 10YR7/4 | 黒 | 灰白 2.5Y8/1 | 灰白 2.5Y8/1 | 450×350 | 350 | ±90° | 回転半径 | 回転半径 | 内部 | 内側にゴム軸の自然軸と工具孔2ヶ所 |
| 225 | 包装機 | 10YR7/1 | 黒 | 灰白 2.5Y7/1 | 灰白 2.5Y7/1 | 450×350 | 350 | ±90° | 回転半径 | 回転半径 | 内部 | 内側にゴム軸の自然軸と工具孔2ヶ所 |
| 226 | 包装機 | 10YR8/2 | 黒 | 灰白 2.5Y8/1 | 灰白 2.5Y8/1 | 450×350 | 350 | ±90° | 回転半径 | 回転半径 | 内部 | 内側にゴム軸の自然軸と工具孔2ヶ所 |
| 227 | 包装機 | 10YR8/3 | 黒 | 灰白 2.5Y6/1 | 灰白 2.5Y6/1 | 450×350 | 350 | ±90° | 回転半径 | 回転半径 | 内部 | 内側にゴム軸の自然軸と工具孔2ヶ所 |
| 228 | 包装機 | 10YR7/4 | 黒 | 灰白 2.5Y8/1 | 灰白 2.5Y8/1 | 450×350 | 350 | ±90° | 回転半径 | 回転半径 | 内部 | 内側にゴム軸の自然軸と工具孔2ヶ所 |
| 229 | 包装機 | 10YR8/3 | 黒 | 灰白 2.5Y8/2 | 灰白 2.5Y8/2 | 450×350 | 350 | ±90° | 回転半径 | 回転半径 | 内部 | 内側にゴム軸の自然軸と工具孔2ヶ所 |
| 230 | 包装機 | 10YR7/1 | 黒 | 灰白 2.5Y3/1 | 灰白 2.5Y3/1 | 450×350 | 350 | ±90° | 回転半径 | 回転半径 | 内部 | 内側にゴム軸の自然軸と工具孔2ヶ所 |
| 231 | 包装機 | 10YR8/1 | 黒 | 灰白 2.5Y8/1 | 灰白 2.5Y8/1 | 450×350 | 350 | ±90° | 回転半径 | 回転半径 | 内部 | 内側にゴム軸の自然軸と工具孔2ヶ所 |
| 232 | 包装機 | 10YR7/4 | 黒 | 灰白 2.5Y8/2 | 灰白 2.5Y8/2 | 450×350 | 350 | ±90° | 回転半径 | 回転半径 | 内部 | 内側にゴム軸の自然軸と工具孔2ヶ所 |
| 233 | 包装機 | 10YR8/3 | 黒 | 灰白 N7/ | 灰白 N7/ | 450×350 | 350 | ±90° | 回転半径 | 回転半径 | 内部 | 内側にゴム軸の自然軸と工具孔2ヶ所 |
| 234 | 包装機 | 10YR8/3 | 黒 | 灰白 2.5Y8/1 | 灰白 2.5Y8/1 | 450×350 | 350 | ±90° | 回転半径 | 回転半径 | 内部 | 内側にゴム軸の自然軸と工具孔2ヶ所 |
| 235 | 包装機 | 10YR7/1 | 黒 | 灰白 2.5Y7/2 | 灰白 2.5Y7/2 | 450×350 | 350 | ±90° | 回転半径 | 回転半径 | 内部 | 内側にゴム軸の自然軸と工具孔2ヶ所 |
| 236 | 包装機 | 10YR7/2 | 黒 | 灰白 2.5Y8/1 | 灰白 2.5Y8/1 | 450×350 | 350 | ±90° | 回転半径 | 回転半径 | 内部 | 内側にゴム軸の自然軸と工具孔2ヶ所 |
| 237 | 包装機 | 10YR7/1 | 黒 | 灰白 3.5Y8/2 | 灰白 3.5Y8/2 | 450×350 | 350 | ±90° | 回転半径 | 回転半径 | 内部 | 内側にゴム軸の自然軸と工具孔2ヶ所 |
| 238 | 包装機 | 5Y6/2 | 青緑 | 灰白 3.5Y7/1 | 灰白 3.5Y7/1 | 450×350 | 350 | ±90° | 回転半径 | 回転半径 | 内部 | 内側にゴム軸の自然軸と工具孔2ヶ所 |

第8表 遺物観察表(土器) 7

| 相次 通鑑名 | 器種 (保存状) | 全長(cm) (矢張幅) | 横幅(cm) (矢張幅) | 寸 筋 | 上 筋 | 縫合・調整 | | 備考 |
|-----------|-------------|-----------------|-----------------|--------|--------|---------------|-------------|-------------|
| | | | | | | 前面 | 背面 | |
| 52 SD01 | 平瓦 | 8.6 | 3.0 | 1.6 | 中・少 | 矢白1018/1 | 矢白1018/1 | 保付箱(10枚) |
| 53 SD01 | 平瓦 | 9.0 | 3.4 | 2.2 | 中・少 | 矢N4/ | 矢N4/ | 無底小筒い 瓦質 |
| 54 SD02 | 平瓦 | 6.3 | 6.2 | 2.2 | 中・少 | 矢白N3/ | 矢白N3/ | 無底小筒い 瓦質 |
| 55 SD02 | 平瓦 | 9.0 | 7.0 | 1.7 | 中・少 | 矢白N8/ | 矢白N8/ | 無底小筒い 瓦質 |
| 62 SD03 | 平瓦 | 9.0 | 1.8 | 1.2 | 中・少 | 矢白1018/1 | 矢白1018/1 | 無底小筒い 瓦質 |
| 74 SD04 | 平瓦 | 17.2 | 9.1 | 2.2 | 中・少 | 矢白1017/ | 矢白1017/ | 無底小筒い 瓦質 |
| 161 SD05 | 平瓦 | 8.0 | 7.3 | 1.8 | 中・少 | 矢白12.5/8/1 | 矢白12.5/8/1 | 無底小筒い 瓦質 |
| 162 SD07 | 平瓦 | 7.5 | 4.2 | 1.3 | 中・少 | 矢白1017/ | 矢白1017/ | 無底小筒い 瓦質 |
| 163 SD07 | 平瓦 | 8.5 | 7.2 | 1.7 | 中・多 | 矢白1017/ | 矢白1017/ | 無底小筒い 瓦質 |
| 164 SD07 | 平瓦 | 11.3 | 10.5 | 3.1 | 中・少 | 矢N4/ | 矢N6/ | 無底小筒い 瓦質 |
| 165 SD07 | 平瓦 | 9.1 | 8.3 | 2.3 | 中・少 | 矢白1014/ | 矢白1014/ | 無底小筒い 瓦質 |
| 166 SD07 | 平瓦 | 6.9 | 5.3 | 2.4 | 中・少 | 浅槽1018/3 | 矢白1018/2 | 無底小筒い 瓦質 |
| 167 SD07 | 平瓦 | 4.3 | 4.2 | 1.8 | 中・少 | 矢白N8/ | 矢白N6/ | 無底小筒い 瓦質 |
| 168 SD07 | 平瓦 | 4.5 | 5.6 | 1.8 | 中・多 | 矢白1.10YR8/1 | 矢白1.10YR8/2 | 無底小筒い 瓦質 |
| 169 SD07 | 平瓦 | 6.3 | 6.8 | 2.0 | 中・多 | 矢N5/ | 矢白N8/ | 無底小筒い 瓦質 |
| 170 SD07 | 平瓦 | 5.8 | 5.7 | 1.6 | 中・少 | 矢N7/ | 矢白N8/ | 無底小筒い 瓦質 |
| 171 SD07 | 平瓦 | 7.1 | 5.0 | 2.5 | 中・少 | 矢白7.5/YR6/4 | 矢白7.5/YR6/3 | 無底小筒い 瓦質 |
| 172 SD07 | 平瓦 | 5.0 | 4.5 | 1.8 | 中・少 | 矢白1.5/YR7/1 | 矢白1.5/YR8/1 | 無底小筒い 瓦質 |
| 173 SD07 | 平瓦 | 4.7 | 4.2 | 2.3 | 中・少 | 矢白1.5/YR8/2 | 矢白1.5/YR8/1 | 無底小筒い 瓦質 |
| 174 SD07 | 平瓦 | 5.6 | 4.1 | 1.8 | 中・少 | 矢白N3/ | 矢N4/ | 無底小筒い 瓦質 |
| 175 SD07 | 平瓦 | 17.4 | 10.6 | 2.4 | 中・少 | 矢N5/ | 矢白N6/ | 無底小筒い 瓦質 |
| 176 SD07 | 平瓦 | 10.6 | 12.9 | 1.8 | 中・少 | 矢白1.5/YT7/1 | 矢白2.5/YT7/2 | 無底小筒い 瓦質 |
| 177 SD07 | 平瓦 | 6.7 | 7.7 | 2.4 | 中・少 | 矢白1.5/YT7/1 | 矢白1.5/YT7/1 | 無底小筒い 瓦質 |
| 178 SD07 | 平瓦 | 4.5 | 5.4 | 1.9 | 中・少 | 矢白10YR5/1 | 矢白N5/1 | 無底小筒い 瓦質 |
| 186 SD08 | 平瓦 | 6.1 | 2.3 | 2.1 | 中・少 | 矢白N5/ | 矢白N5/ | 無底小筒い 瓦質 |
| 191 23合瓦 | 平瓦 | 5.1 | 4.7 | 2.7 | 中・多 | 矢白1.0YR7/1 | 矢白1.0YR7/1 | 無底小筒い 瓦質 |
| 204 包含瓦 | 平瓦 | 6.0 | 5.0 | 2.2 | 中・少 | 浅槽1018/4 | 矢白5/YR7/1 | 無底小筒い 瓦質 |
| 205 包含瓦 | 平瓦 | 6.4 | 5.0 | 2.7 | 中・少 | 矢白N3/ | 矢N4/ | 無底小筒い 瓦質 |
| 206 包含瓦 | 平瓦 | 7.1 | 6.5 | 2.0 | 中・少 | 矢白1.2.5/8/2 | 矢白2.5/YT8/4 | 無底小筒い 瓦質 |
| 208 23合瓦 | 平瓦 | 9.7 | 10 | 2.4 | 中・少 | 矢白2.5/YR8/3 | 矢白2.5/YR8/2 | 無底小筒い 瓦質 |
| 221 23合瓦 | 平瓦 | 11.5 | 12.9 | 1.8 | 中・多 | 矢白1.0N7/ | 矢白1.0N7/ | 無底小筒い 瓦質 |
| 239 包含瓦 | 平瓦 | 5.8 | 9.4 | 1.9 | 中・多 | 矢白1.0N6/ | 矢白1.0N6/ | 無底小筒い 瓦質 |
| 240 包含瓦 | 平瓦 | 7.6 | 7.0 | 1.5 | 中・少 | 矢白N8/ | 矢白N8/ | 無底小筒い 瓦質 |
| 241 包含瓦 | 平瓦 | 11.5 | 9.4 | 2.1 | 中・少 | 矢白1.7.5/YT7/1 | 矢白7.5/YT7/1 | 無底小筒い 瓦質 |
| 242 23合瓦 | 平瓦 | 9.4 | 7.3 | 1.9 | 中・少 | 矢白N8/ | 矢白N8/ | 無底小筒い 瓦質 |

第9表 遺物觀察表(瓦)

| 相次 通鑑名 | 報告書標名 | 器種 | 長さ(cm) | 幅 (mm) | 厚さ (mm) | 重 量 (g) | 備 考 |
|-----------|-------|-----|--------|-----------|------------|---------------|----------------|
| 179 SD007 | 瓦G | 6.7 | 19 | 1.2 | 17.03 | 17.03 | 一面を弧面に施用、手持ち抜き |

第10表 遺物觀察表(石器)

図版 1



調査地遠景（南東から）



調査区完掘状況（北から）

図版2



基本土層序（西から）



SD01 土層断面（北東から）



SD01 遺物出土状況（南西から）



SD05 検出状況（南から）



石列状遺構完掘状況（南から）



石列状遺構完掘状況（北から）



石列状遺構の石列と南壁敷き部分（南西から）

図版4



石列状遺構の北礫敷き部分（北から）



石列状遺構の石列と南礫敷き部分（南から）

図版5



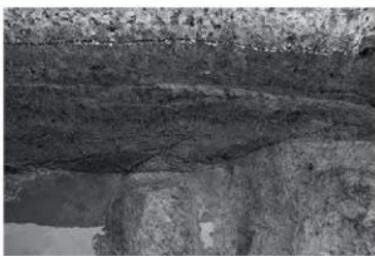
石列状遺構の石列と南疊敷き部分（南から）



石列状遺構（南東から）

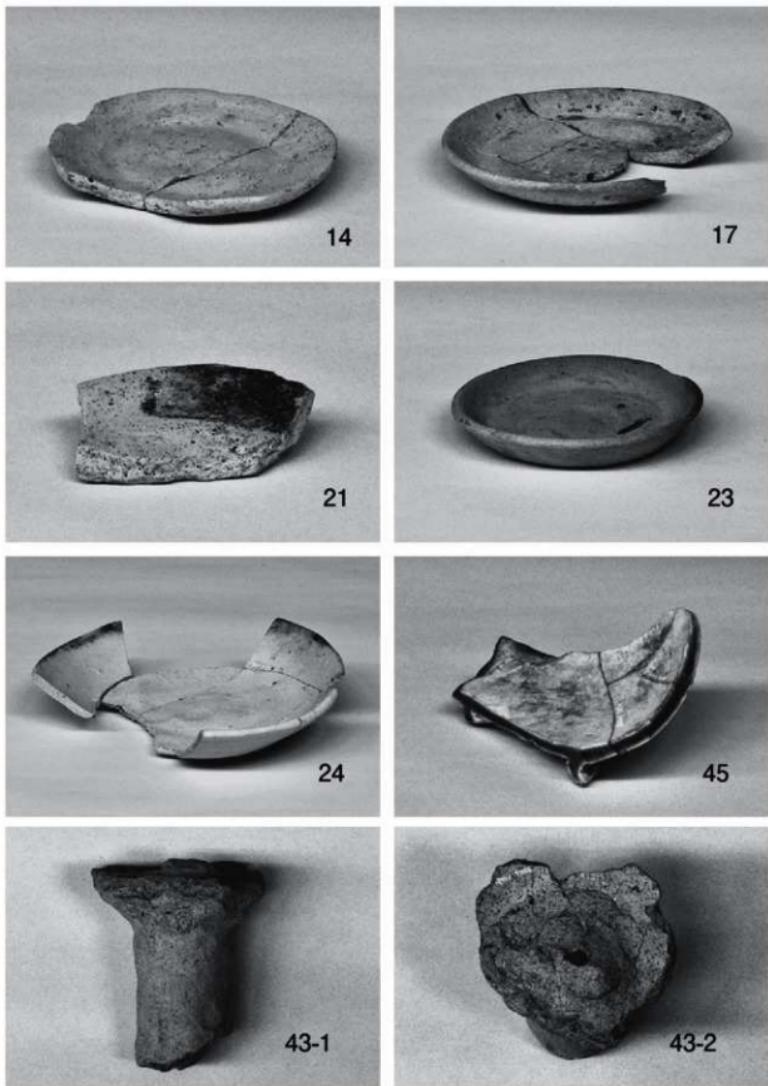


SD07 西肩部（北西から）



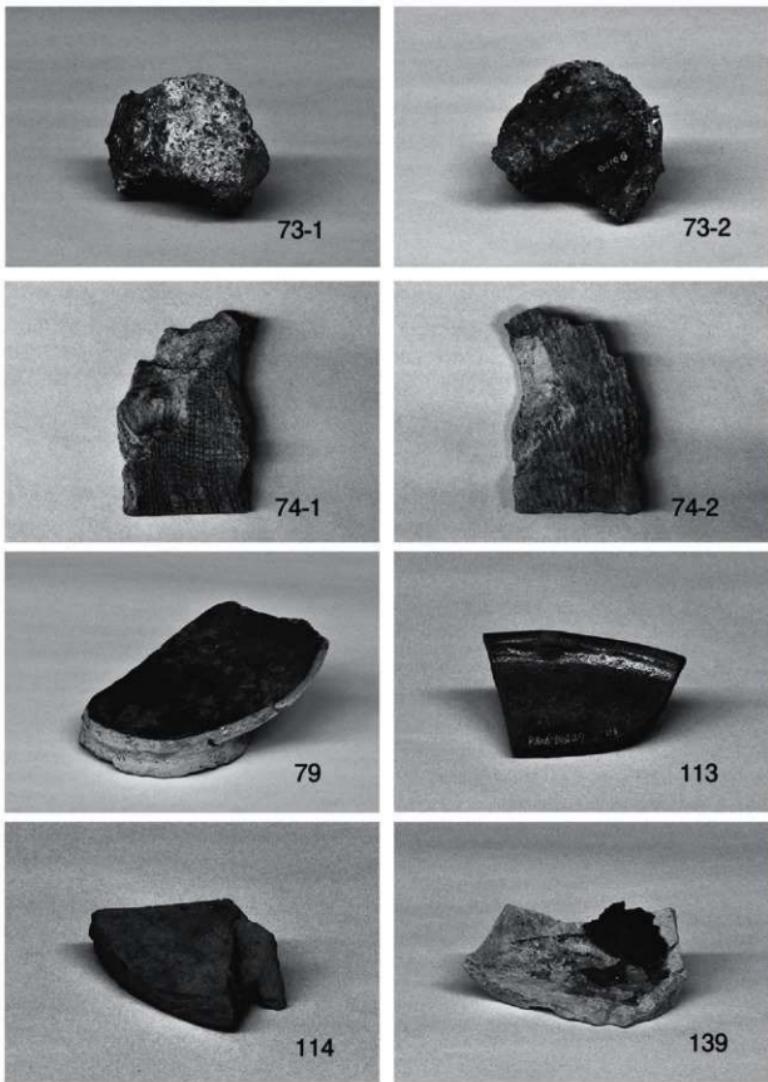
SD08 土層断面（北から）

図版6



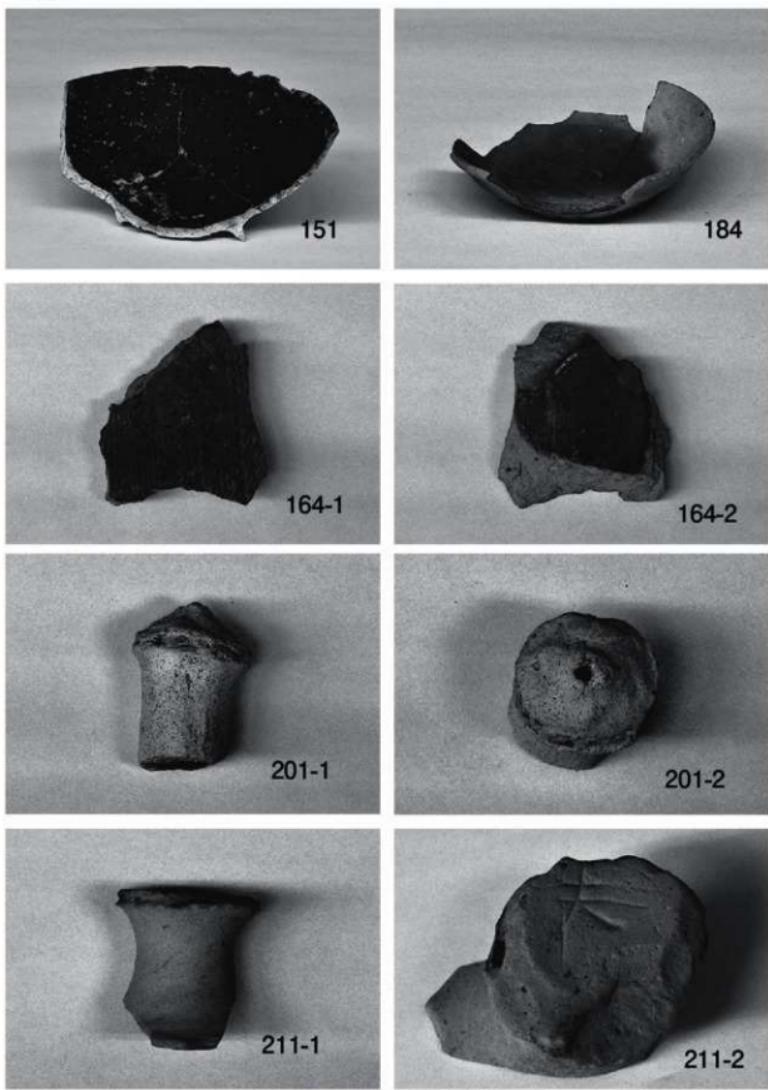
出土遺物 1

図版 7



出土遺物 2

図版8



出土遺物3

報 告 書 抄 錄

平成 22 年度 香川県内遺跡発掘調査
讃岐国府跡発掘調査概報

平成 23 年 9 月 15 日 発行
編 集 香川県埋蔵文化財センター
〒 762 - 0024
香川県坂出市府中町南谷 5001 番地の 4
電 話 (0877) 48 - 2191
F A X (0877) 48 - 3249
発 行 香川県教育委員会
印 刷 株式会社